

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
東1	浅虫	昨年度、浅虫町会前～椿館の間が、道路の圧雪によるでこぼこで車のすれ違いに支障をきたしたため、一度圧雪を重機で削ってもらった。その後の降雪で数日で同じような状態に戻ってしまった。除雪時、積もった雪と一緒に圧雪も削ってもらえるとありがたい。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東1	久栗坂	7/15東奥日報の朝刊に除排雪確認にカメラ導入と載ってましたが、作業の出来栄えを確認する市職員のパトロール車両などに搭載する予定となっているが、そもそもパトロール車両が生活道路を通ること無く、県道や国道を走っているだけで、生活道路、住宅街を走っている所を見たことがない。	これまでも生活道路のパトロールを実施しておりますが、今冬からはパトロール体制を増強することとしており、これまで以上に生活道路を巡回できるようにしてまいります。
東2	本泉	昨冬の連日の大雪の間、当本泉地区は1回も除排雪の行われなかった地域です。 これまでも当地区は、例えば市から全市一斉除排雪の指令が出され、他地区は終了しても当地区はまだ終了できない状況で、担当業者に電話すると、当社は工区以外にも幹線道路も受け持っており、幹線道路優先で実施するのでどうしても遅くなる。そのことは市道路課でもわかっており了解を得ているとのこと。 今後、連日大雪が続いた場合、担当業者が幹線道路優先で進められた場合、その担当工区の除排雪はどう実施されるのか。	業者ヒアリングを踏まえ、業者の配置を検討します。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東2	築木館	当町会は、居住世帯数36、人口107名で、このうち6 5歳以上の高齢者が約4 3%の過疎集落となっており、市街地への移動手段は自家用車のほか、1日に4本の市営バスが運行されております。 7年度の除排雪に関して、原別築木館線の担当を㈱ダイキョウが行っております。いつも除雪に来てくれるオペは夏季の道路形状・障害物・各世帯の居住者の特性等を考慮しつつ、優れた除雪技量を発揮し、住民が行う間口の除雪の苦労を少しでも排除しようと頑張っており感謝しております。 しかしながら、6年度でも少し見受けられましたが、市の出動指令はあったとしても、業者内の出動できる重機数・オペ人員と請負金額を自前の計算（いわゆる儲け分）をもとに、業者で指揮を執る人の考え方ひとつで出動が決定されているような気がしてなりません。 （市の指令を参考として実指令は業者が決定しているようにみえざるをえない。） 市があらゆる状況を鑑み、計画作成の段階から大変な苦労をされ、冬季の職員の態勢固めをして頑張ったとしても、指令を無視されるようでは今後の豪雪でも同じことになるのは明らかです。 8年度については、過去の状況を分析しつつ予算の組み立てや各業者の現状把握を行い、この度の「雪ミーティング」開催等を経て「令和8年度除排雪事業実施計画」を作成されると思いますが、市として既に報道に発表されている以外に過去の問題点とご意見・提案をさせていただきます。 1 これまでの問題点 （1）除雪実施の積雪基準で市の指令が出ていても除雪に来ない。特に一晚に約3 0 cm以上の積雪があった場合、バス回転所の除雪や狭隘路線の除雪にきた業者が、担当する除雪場所までの移動間の道路の新雪を踏み固めて道路に固いコブを形成し障害となっている。 （2）狭隘道路の担当は決められた部分しか除雪しない。除雪のために交差点等に残した雪をそのままにして帰る。 （3）当町会は迂回路が無く、昨年度市営バスがスタックで動けなくなったとき、後続の送迎車両が前進できないため、介護施設利用者を歩かせた。 2 意見・提案 （1）指定業者の除雪が不十分の場合、または立往生車両等で緊急の場合は指定業者以外にも除雪を依頼し、燃料代その他の報酬を支払えないか。 （2）郊外幹線除雪と狭隘道路除雪はセット化できないか。（（有）小川目建設は頻繁に除雪に入っています。） （3）町内で小型重機を所有している町民に、真に除雪を必要とした状況が発生した場合、燃料代その他報酬を支払えないか（町会長が証明書提出）	（1）（3）地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。 （2）幹線道路と狭隘道路は、作業機械や作業方法、頻度、時間等が異なるため、効率性を考慮し、別々に除排雪作業を実施しています。
東3	造道	狭隘道路について 冬季期間で雪が降ったらなるべく早く除雪をしてもらいたい。 一人暮らし高齢者が足が悪く買い物、ゴミ捨て行けない。 狭隘道路は、二の次でなかなか来てもらえない。冬季期間2回で、生活道路ではないんですか？……市では、どう思っているんですか？……もっと回数を増やして貰いたい。	狭隘道路についても、市民生活に欠かせない生活道路であり、その重要性は十分認識しております。 一方で、狭隘道路は道路幅員が狭く、除雪作業に使用できる機械や作業方法に制約があることから、作業に時間を要するなど、除雪作業の実施には様々な制約があることについても御理解いただきたいと考えております。 このため、限られた除排雪体制の中で、道路状況や降雪状況を踏まえながら対応しているところですが、今冬に向けた除排雪体制の見直しを進める中で、狭隘道路を含めた適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東3	八重田	冬期間における道路パトロールの運用状況を知りたい。 冬期間の人員体制、車両台数、日中及び夜間の活動等について教示されたい。	令和7年度は、日中及び必要に応じて夜間に道路パトロールを実施し、道路状況や降雪状況の確認及び除排雪作業状況を確認してきました。令和8年度においては、パトロール班を増設するとともに、パトロール車へのカメラの搭載等により道路状況把握を強化します。また、夜間パトロールについても引き続き実施する予定です。
東3	矢作	○町会ホットラインについて 1. 2月1日午前1 0時3 0分にホットラインの電話に出た相手は、私の話を聞いて「はい」とカラ返事するか、いつになるか分かりませんと言うだけであった。これでは何を言っても時間の無駄である。勤続年数を聞いたら4月採用の職員という事であった。 2. 空家の屋根から大量の落雪があった。除雪車が入った日であったが引き込み線が垂れているということでその場所は除雪されていなかった。次の日ホットラインに電話したら2 0分以上呼び出し音が鳴っても電話に出ることはなかった。このままの状態では通行面でも、電気の面でも危険があり窮余の策で消防署に電話し事情を説明、化学消防車と隊員3名が来て車両が通れるようにしてくれた。すでに東北電力ネットワークにも連絡済であり八戸から駆けつけてくれた。 ○除雪要請について 町会が除雪要請する時は除雪・排雪を一体でやってくれということで、1段階除雪・2段階除雪はまったく関係ない。ほとんど雪が積もっていない時に除雪車が来て、ただ素通りしただけで、こんな時になんで来るのかと呆れたことが2回ぐらいあった。	○町会ホットラインについて 町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 ○昨冬のような短期間に集中する降雪においては、道路交通を確保するため、降雪状況や道路状況を踏まえながら、迅速性を重視した除排雪方法として除雪と排雪を分けて実施します。
東3	浪打一丁目	町内の中で特に浪打銀座通りの除雪において、段差があり、スタックした車が続出し、近くにいた人が協力して車を押す事が多々あり、適切な除雪が望まれます。一般的に雪が多かったのか、作業が雑な感じがした。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東4	矢田	冬期間数回の除雪をお願いします。非常時の道路確保の為（図）	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
東5	自由ヶ丘	市営バスの冬期間ダイヤ変更の際、東部五区内（浜館1～4丁目、虹ヶ丘、自由が丘）の走行経路が変更され、従来のバス経路（補助幹線）の一部はバスが通行できなくなりました。昨年の会議（意見交換会、調整会議）において、従来のバス経路の除排雪体制に危惧を申し述べたところ「影響がないように徹底して除排雪を行う」旨の回答をいただいておりますが、結果は実に酷いものでした。補助幹線が堆雪により通行に支障をきたし、工区がきちんと排雪されているという現象に地域住民から多くの問い合わせや苦情を受けたところです。みちのく造園から自由が丘に入り電話ボックスで右折する経路の堆雪がなかなか解消されないため、工区の業者のダンプの出入りにも支障が生じている状況でした。毎年同じ意見を言い続けてきましたが、バス経路の業者の排雪がなかなか実施されないことが状況悪化の原因であることが明らかであるにもかかわらず、排雪の回数が少ないのでは改善に期待できません。今後も毎冬バス経路が変更されるのでしょうか、昨年も提案したようにバス経路の業者ではなく工区の業者が一括して担当（もちろん委託費を増額）した方が堆雪も解消され効率的ではないでしょうか。それ以外に状況が改善されるような除排雪方法・体制の提案があるのであればお示しください。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東6	佃第一	市民雪寄場の設定は助かっています。今後とも続けていただきたいと思います。	今後も取組を継続してまいります。
東6	佃第三	町会長体調不良にて代行してこちらを提出します。 回答及びミーティング内容の要約は町会長太田まで7月末までに郵送願います。 なお、回答及び要約は回覧板などで町会会員にて共有予定です。 よろしく願いいたします。 1. 雪行政に関して、青森市の総責任者は誰ですか？ 2. 2026年7月15日現在、雪対策の対応はどちらの部？課？担当係？でしょうか？ 具体的に連絡先、担当者名、e-mailアドレスをお伝えください。 3. 2026年3月末との比較として、雪対策の担当者の人数はどのくらい増員されましたか？ 具体的に人数をお知らせください。 4. 各町会に1人、市として担当者を置くことは可能でしょうか？ パトロール、除雪確認、除雪業者への指令を出す担当者への連絡を専属的に行っていただきたい。 2025年冬期、除雪依頼をした後「パトロールに向かいます」と担当者から回答があったが確認に来た試がないため。もちろん、パトロール後の連絡も除雪業者への指令をした形跡も皆無でした。 業務量に対して担当者が足りないのではないですか？ 5. 除雪のタイミング 昨シーズン、降雪状況の予測ができにくいことは納得ですが、あまりに小雪の状態で除雪が入ったり降雪が続き圧雪となってから一般家庭前を除雪してもらったものの、出勤直前に車庫前に15cm以上の段差が発生しており、日本自動車連盟に依頼したものの会社へ遅刻した事例や、車両を破損した事例を耳にしておりました。 2026年のシーズンの除雪が入る条件を明示ください。 なお、凡例のように除雪に起因する車両破損を認知した場合の賠償請求の手順と2025年の事例をお知らせください。 6. 市役所と除雪業者との指示・連絡について 2025年の冬季において市役所と除雪業者との連絡がうまく行えていなかった印象があります。いつそのこと、全ての除雪指令をwebにて明確に行い、日時を含め一般市民も確認できる状況が必要なのではないのでしょうか？ 7. 除雪業者からの意見発表、意見交換できるwebページの設置をお願いできませんか？ 経験を活かせる意見交換・担当者のグダメキを公表して、作業において効率化安全確保につながればよいと思います。 8. 一斉排雪日の復活を。 ある程度の降雪があったら、一般の住宅も排雪日を設けたらよいのでは？ 昭和の時代には実行していた事実があります。 なお、一斉排雪がなくなった事情をお知らせください。	1. 除排雪対策については、市長を本部長として「青森市除排雪対策本部」において全体を統括しています。 2. 青森地区の除排雪業務においては都市整備部道路維持課雪対策室が主に担当しています。担当は業務により異なるため、具体的にはお問い合わせて願います。連絡先：017-752-8584、メールアドレス：doro-iji@city.aomori.aomori.jp。なお、雪に関する市民相談窓口連絡先は、広報おおもり等により改めて周知します。 3. 都市整備部道路維持課雪対策室の職員数は、2027年7月末現在で12名であり、2026年3月末と比べて5名増員しています。 4. 各町会への専属担当者の配置は困難ですが、市内を8つに分けた地区ごとに職員を配置しており、専属的に事業者への作業指示・連絡を行っています。 5. シーズンは、除雪と排雪を区別して迅速性を重視した除排雪方法としており、除雪の出動基準については、降雪がおおむね15cm以上、かつ、交通に支障が生じることが見込まれる場合とします。また、市の除雪作業に起因する損害については、諸般の事情を総合的に考慮して具体的、個別的に判断しているため、具体的な手順等は市に直接お問い合わせ願います。 6・7. 青森市除排雪業務総合管理システムの改修等により除排雪業務における情報共有の強化を進めています。 8. 一斉排雪は交通事情や除排雪体制の変化により継続が困難となりました。
東6	佃本町第三	除雪が混乱した原因を市役所、業者間で問題点を抽出して解決策を見出すべきである。 どこに問題があるかを解明しなくては、解決策は見つからない。 明の星通の歩道の一部に過去に融雪を実験的に実施したと思われる。箇所が2ヶ所あり、現在もそこは歩道の積雪は少ない。 こういう事例を多く集めて検討すべきであると考える。 排水が流れるマンホールは現在も雪は融けて少ない。こういう事例をもっと研究すべきである。	昨冬の対応については、毎年除排雪事業者に対して行っているヒアリング等により、課題を整理し、今冬の除排雪体制の見直しを進めています。
東6	松森	花園二丁目（国道4号から東青森通り）の歩道除雪をなぜ行わないのか。東青森駅入口まで。	歩道除雪に努めます。
東6	松森団地	ホットラインがつながらない。ホットラインでの対応、歩道の除雪、小学校が休校になるのは問題。 幹線の除雪で交差点に雪を寄せてせまくしている。 昨冬の雪は異常なので仕方がないと思うが、ソロバン道路にならないように除雪をして欲しい。	町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 また、歩道を含めた道路交通の安全を確保するとともに、交差点の雪盛りや路面状況にも配慮しながら、適切な除排雪の実施します。
東6	浜館団地	市道（一方通行）から浜館団地への入口は2か所ありますが、その市道は何年にもわたり度重なる要請にも拘らず除排雪があまり行われておりません。その市道に至る線路沿いの市道も同様です。 市道の除排雪は業者に委託しているとは思いますが、その管理（除排雪の頻度等）他市道について市ではどのように把握しているのでしょうか。お知らせください。 業者にまかせっきりではなく詳細な管理をして住民が安心して生活できるようにお願い致します。 除排雪があまり行われていない結果を下記致しました。 又詳細箇所については別紙に地図を記しましたのでご参照ください。 記 ①轍ができ車が動けなく、破損したり、渋滞して善意の数人の住民方の雪片付けに頼らなければ帰宅できない状態です。 ②線路沿いの市道も同様に車のすれ違いができなく渋滞の状態です。 ③車使用者のみならず高齢者の多い当団地では道路がすり鉢状の為気軽に買い物にも行けない状態です。	市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をより的確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。
東7	はまなす	町会用のホットライン対応に思ったこと（R8.2/3（火）15：30～） 町会：町会のメイン路線（県病交差点～小柳通り）以外、この2週間除雪が入っていない。 ①当工区担当者に対する市の指示等は ②当工区の除雪の見通しについては（大まかでも！） 市担当者：①工区毎の除雪の滞り原因は分からない ②今後の具体的な対応策は決まっていない ③今は二段階方式にこだわらず除排雪に全力をあげる 町会（要望）今後の見通しをホームページ、マスコミを通じて市当局の情報として発信すべき！！ ※市役所への電話は、「直ぐ除雪を！！」「今後の除排雪の見通しは！」のはずかと。 組織として常に、除排雪業務に関する最新の情報を共有する体制をとるべき（特に除排雪業務に従事する職員は）	業者ヒアリングの場等を通じて、除排雪作業の進捗状況や課題について確認するとともに、必要な指導を行ってまいります。 また、昨冬は、地域ごとの具体的な作業の見通しを十分にお示しできていなかったことも課題であると認識しており、今後は、GPS等のICT技術を活用して作業状況を迅速に把握し、市民への情報発信の充実を図ってまいります。 さらに、除排雪業務総合管理システムを活用し、除排雪業務に関する情報を適切に共有しながら、組織として迅速かつ的確な対応に努めてまいります。
東7	けやき	除排雪担当区域の接する境目の交差点にて段差ができ、大渋滞になってしまった。後から入った業者がスロープ状にするなどの対策を講じてほしい。 大雪が除雪後降った時など日中に再度除雪が出来ないものか。かなり前は、日中も除雪していただいた事がありました。 昨年は町内に緊急車両が入って来れず、要請した場所までかなりの時間を要したケースがありました。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東10	北蛭沢	1 バス路線の毎日除雪 2 除雪方法の考察 地区毎の計画で路面が見える位相当時間を費やし丁寧に除雪しているが、5～10cm残しても軽く除雪しその分実施範囲を広げたり、実施回数を増やしてほしい。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東10	赤坂	<除排雪の実施基準等について> 1 青森地区における生活道路の除排雪の実施基準等において、除雪作業は、「降雪がおおむね15cm以上で、かつ、交通の確保が困難と認められる場合に実施する。」とされている。 2 戸山団地内の場合は、15cmを超えても除雪作業の実施にならず、車両が雪に埋まり、緊急車両の通行に支障を来すようなことが少なからず見受けられる。 3 戸山団地は、山沿いに位置するため、市街地に比較して降雪量が極めて多いことから、車両の円滑な通行を確保するため、15cmを超えたら機械的に除雪作業が実施されるような実施基準の運用をお願いしたい。 4 また、「交通の確保が困難と認められる場合」に関する現場の状況について、市と住民側には、その判断に多少の乖離があるように思われる。市が「交通の確保が困難と認められる場合」は、具体的にどのような状態なのか御教示願います。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
東11	小柳	①とにかく、TELに出ないのが問題（不通と同じ）※何か問題があったらと電話Noが書かれていても、何回も通じない。約30万都市であれば10台は準備しておく。 ②途中で業者が変更したのであれば地区に通知してもらおう！業者に連絡しても除排雪での手順が示されないので不安でしかない。 ③各町会からの積雪状態を画像で市民がいつでも見れる状態が良い（毎日の変動）→町会から提出してもらおう。 ④交差点の除雪が乱雑、跨線橋の除雪が乱雑なので車が跳ね上がるくらいです。これだけで、市内と戸山地区が分断されている。 ⑤除雪作業の効率を下げている一因として道路への自宅の雪の移動があります。今まで以上に雪捨て禁止の周知が必要です。近隣住民の報告の促進も必要です。（報告は写真等のエビデンス必須とする）そのエビデンスを基に市として防止対策を行う。 ⑥除雪車へのGPS搭載との事です、それをどのように運用して効率化を図るとの事。具体策を市民に分かるように説明が必要。	①町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 ②除排雪事業者の変更が生じた場合には速やかにお知らせします。 ③今後の除排雪体制の見直しの参考にさせていただきます。 ④交差点や橋梁部を含め、道路交通の安全確保に配慮した適切な除排雪の実施に努めてまいります。 ⑤道路への出し雪は、円滑な除排雪作業や安全な道路交通の支障となることから、引き続き周知啓発を行うとともに、職員に対しても適切な対応を行うよう徹底してまいります。 ⑥ 今冬は、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組んでまいります。
東11	県営唐橋	路線名 小柳団地線 小柳駅、小柳小学校、市県営住宅があるため、車両及び人の交通量が多いため道路幅を除雪時には車両2台分交差できるようにお願いしたい。 ※・学校への送り迎えの車両 ・駅利用の人及び車両 ・集合住宅の入居者、生活の確保 以上の項目がスムーズにできるようよろしく願いいたします。	今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
東11	鴨泊	今年2月の記録的豪雪（2/1 183c m）で大変でした。特に生活道路が業者も手に負えず問題となりました。 私の所の除雪は、令和6年度は準幹線道路9回生活道路6回。令和7年度は準幹線道路6回生活道路5回。 と7年度の方が少なく特に2月の記録時には半月も除雪が入らずゴミの回収もストップ。近所の町会長からも何とかならないかの電話を頂く始末。 今年は何か良い改善策があればと存じます。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
東11	袋懸	我が町会担当の業者の方は「電話には出ない」とはつきりと言われ、びっくりしました。何度も時間帯を考え電話しているのですが留守電にもせず、いかななものかと思いました。（2月2日写真もあります） 排雪してはだめな根子ぜきも山となりました。 2月12日頃からやっと除排雪に業者が入り大変でした。他町会と不公平ない除排雪をお願いします。 町会の様子を日時等で写真があります。	除排雪事業者に対しては、適切な連絡体制の確保について指導します。また、今後除排雪にかかる苦情・要望等については市に直接ご連絡くださるようお願いします。 公平かつ適切な除排雪の実施に努めます。
西1	東昭和町	※青森県警を退職後青森市の除雪（ブルのオペレーター歴4年）をやった観点から意見を述べさせていただきます。 雪に関する意見 始めに… ・今年の雪については、市役所は悪くない（全くとは言いませんが） ・単に雪が「多く降った、通年と違う地味な積もり方をした」ことなので、市民が（というか、メディアが勝手に騒いでいたという雰囲気もある）あんなに騒ぐ「悪者探し？」意味が分からない ・市役所も市議会も市民も「悪者探し」はやめて、もっと建設的な意見で推移してほしいと思う （1）市民に雪かき基本の周知徹底を ア雪かきは行政任せにしない ・青森市民は、基本、自宅の雪は「自分でお金を出して処理するもの」の認識が薄い ・市役所は市が管轄する道路に積もった雪のみ除雪していることを認識させ、町内会（或いは個人）に、町内会単位の雪処理方法を確立させる ・市会議員は来年選挙があるので「除雪車来たら雪持って行って貰ってもいい」等といい加減なことを言わないでほしい（実質選挙違反？） イ何故段差ができるのか ・グレーゾーンの雪かきを教えてほしい （電柱と電柱を結んだ延長線と自宅敷地との間は誰も雪かきしないグレーゾーンであることから、そこを放置しておく段差ができるのは当然であり、段差を無くするためには「雪が降る都度【柔らかい時】に雪かきする」れば、段差はなくなるので、グレーゾーンは自分でやることの周知を徹底する） ウ道路に自宅の雪を出さない これは道路維持課だけの問題でもなく、警察との連携が必要だと思います。 この様なタウンミーティングを開く際に、警察が出席しないのはおかしいし、道路に雪捨てする人の取締りが疎かになっています。 是非警察と連携し、取締りを実施して、自宅の雪を最低「道路に出さない」環境を作らないと、いつまで経っても不公平感と道路の雪は無くなりません。 不公平感というのは、我々は、除雪機を買ったり、雪を運ぶ軽トラックを買ったりして自宅の雪を捨てに行っています。なのに、その様な努力もせず、ただ人が邪魔になる位自宅の雪を道路に出し、酷い時は「道路よりも自宅敷地内の方が雪が少ない」というとんでもないことが起きております。 エとんでもない意見を言っている人がいます（それもありかと…） 今年のように、とにかく「除雪を綺麗」にとか言ってる輩がありますが、市の除雪予算がいくらで、どの位やったら市民の税金を多く使わなくても良いという計算を市役所はしていると思います。 その辺が、市民は全く分かっていないのであれば「この際なので、超除雪をして市内を綺麗にし税金（予算）を全部使って市民に請求すればいい」って言ってた人がおりました。 それに関しては、私も賛成で「バランスの取れない除雪をすれば、次の年の税金は上がる」ことを認識させた方が良いのでは無いでしょうか？ 除雪はただではありません！ （2）雪はゴミですか？ 雪は所詮「要らない物」という認識なので、雪はゴミ扱いですか？となれば、雪は廃棄物となり、海にも捨てられないし、道路にも捨てられないという理論になります。 「要らない物＝ゴミ」なのであれば、道路にも捨てられないということになります。よって、雪はゴミなのでしょう？ （3）雪は災害？ なぜ、この様な話をするのかというと、三陸沖大地震や能登半島の地震、更には各地で豪雨による河川の氾濫と、この日本に災害は沢山あり、被災すれば、その災害が悪者になって「そんなのに負けないで復興を続けましょう」という士気が上がりますが、除雪の雪については「災害」等の議論はなく、激甚災害の定義にはまれば災害指定と毎年のように同じ事の繰り返しをして来ております。 気象庁の制度も上がったことから「予測型激甚指定」なる制度を設けて、除雪費用を前倒しで貰う（使わなかったら還す）という制度はできないのでしょうか？ 青森の人は、雪が災害とは思っていないのかも。だって、春になれば無くなって、桜を見て忘れるのかも。 （4）雪に係る人（ダンプ運転手や重機オペ等）をTVでいいから褒めてやれないのか？ 除雪に係る仕事をしている人は、ほぼ「ダブルワーク」でやっているのが現状で、私的には「あんな厳しい仕事を一晚やって、1万2千円のアルバイト料であれば、自宅で寝ていた方が良い」というのが本音です。 であれば、お金を出せないのであれば、褒めてほしいと思います。 青森市民は、一度でもブルやダンプに乗ったことがないのに「あの運転手下手だ」とまるで評論家のごとく言ってるのをよく耳にします。一度でも乗ってみれば分かります。 寄せ雪に関しては、底剥ぎすれば寄せ雪は残るし（バケットのブルは物理的に回収は無理です）自宅前に、少しの寄せ雪が残るのは、機械の物理的な構造でそうなのであって、マルチとかバケットを帰ればきれいになると思っていますが、マルチ幾らか知っていますか？ あと交換の時間とか、持って来て置く手間とか考えれば、今の除雪費では到底無理と考えます（業者が潰れます） 最後に 色々言っても切りがないのでこの辺で止めたいと思います。 私は、最終的に雪と戦うのは青森市民であり、町内会の単位で何とかしたいと考えております。 ただ、雪の場合は重いので、必ず重機が必要ですし、資格や置き場所も必要と言うことで、お金がかかるので、中々先に進まないと思いますが、頑張ってくださいと思います。 流雪溝ができればまた違うと思うので、その時は、その時でまたこの様な話し合いができればと思います。	冬期間における生活環境を維持していくためには、市による除排雪だけでなく、市民の皆様や地域の御理解と御協力が重要であると認識しております。このため、自宅敷地内の雪を道路に出さないことや、道路への雪出し防止などについて、引き続き市民の皆様への周知に努めてまいります。 また、地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。 昨冬は短期間に記録的な降雪が集中し、市民生活や道路交通に大きな影響を及ぼしたことから、本市としても、通常の降雪とは異なる極めて厳しい状況であったと認識しております。 いただいた御意見も踏まえ、市民、地域及び除排雪事業者の皆様と連携しながら、今後のより実効性のある除排雪体制の構築に取り組んでまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
西1	西本町	当町会でのメインの通りは、青森駅西口から国道280号線に至る区間で市営バスも運行されています。このため排雪もそれなりに実施されていますが、昨冬は、この区間でさえも対面通行できない事が度々ありました。他の幅員の狭い道路はとてひどい状態でした。排雪回数を3倍以上に増やして頂かないと、各家庭への自動車の出入りのために人力で除雪するのも限界があります。 市の予算にも限りはあるでしょうが、高齢化がどんどん進む中にあっては各家庭での人力除雪に多くを望めなくなっていますので、市による適時・適確な除排雪の実施を強く要望します。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
西1	沖館第三	被害報告に対する対応はどうなっているか 道路維持課に令和6年度（令和7年3月まで）の被害報告を3回ほどしましたが、4件被害の内2件解決、2件未解決です。（当時の報告書を添付します） 道路維持課に1回目の被害報告後、業者から直接町会長に回答があり、報告書にありますゴミ集積所㊟と資源ごみ集積所は解決しましたが2件未解決のまま再度、道路維持課に被害報告をしました道路維持課の職員に現場を見てほしいと要望も伝えましたが、業者から直接町会長に当社では無いと回答がありました。 3回目の道路維持課に被害報告をしましたその後はまともな回答はありません。 市役所として除排雪業者の処理能力を適正に把握できているのか 令和7年度の青森市の除排雪状況は当然理解していると思うので、あえて述べません。 上記について沖館第三町会町会長まで文書でご回答お願いします。	除排雪作業に伴う被害報告については、報告内容を確認するとともに、必要に応じて現地の状況を確認した上で、除排雪事業者に対応を求めています。 当該報告については、道路維持課においても現地の状況を確認しておりますが、現時点では、当該被害が受託者による除排雪作業に起因するものと断定することは難しい状況であります。 委託作業の実施に当たり、受託者が第三者に及ぼした損害については、契約上、受託者の責任と負担において賠償することとしていることから、今後も被害の発生状況や除排雪作業との因果関係等を確認し、受託者の責任によるものと認められる場合には、適切な対応を求めています。 除排雪事業者の処理能力については、毎年度、全ての除排雪事業者に対してヒアリングを実施し、保有機械や施工体制等を確認することで把握しております。
西1	富田	1. 市の二段階除雪の評価の総括を明確にしてほしい 2. 十字路等の雪盛りの解消 3. 新田浄化センターの市民雪捨て場の使用時間の見直しと船の博物館空地への雪捨ての際軽トラダンプで行った際、注意されたが業者への徹底を 4. 除雪の成績評価に住民の評価も加えてほしい	1. 二段階除雪については、短期集中降雪等により通常の除雪作業では大幅な遅延が見込まれる状況において、緊急車両等の走行経路を優先して早期に確保することができたことから、緊急時における道路交通の確保に一定の効果があったものと評価しています。 一方で、かき分け除雪を行うことにより、道路上に寄せ雪が残り、その後の寄せ雪処理や道路幅員の確保が必要となるなど、通常の除雪方法と比べて、その後の処理に課題があることも確認しました。 このため、二段階除雪については、緊急時における道路交通の早期確保という点では有効である一方、その後の寄せ雪処理等を含めた道路状況の改善までを考慮すると、実施する状況や方法について工夫が必要な除雪手法であると総括しています。 2. 交差点の雪盛りは、幹線道路・生活道路のいずれの除雪でも生じます。次の冬からパトロールを増やす計画であり、地域の実情をより速やかに確認し、スピーディーな対応に努めます。地域からの情報提供をお願いします。 3. 新田浄化センターは祝日も供用しています。暖気時に運搬車がめかる場合は入口を通行止めとしていましたが、開閉を知らせる看板がなかった点はお詫びします。雪捨てが可能な環境であればシーズン中は開けています。開設時間の拡大については検討したいと考えております。 沖館埠頭について、「小さいトラックはダンプ機能があっても不可」というのは誤った案内であります。4トン未満でもダンプ機能があれば搬入できることを管理業者に徹底し、看板も見やすくなるよう工夫します。 4. 業務評価への住民意見の反映については、現在はコールセンターや市役所に地区から入る相談件数を評価に反映しています。それ以外にどのようなことが必要か調査研究したいと考えております。
西1	ペイタウン沖館	①除排雪重機にGPS（位置情報）を導入するとしているが、どのように活用するのか。 ②青森県知事が県の車両では動画撮影しているとのこと、市も県と同じシステムを導入すべきではないか。 ③契約方式を見直すことや、現在の除排雪重機等の体制（車両及び人員）で、令和8年度の除排雪は市民からの要望に応えることができると考えているのか。 ④民間事業者において、作業人員が病気等や重機の故障等で稼働できない状況が考えられるが、そのような状況が発生した場合に備えて、市が直営での除排雪が出来る体制を作るべきではないか。 民間の除排雪業者が、市の除排雪指令にも従わなかったり、業者の作業員が病気や重機等の故障で、やむを得ない事情等で市民生活に影響が出た場合に、市からの直接命令で作業を行える直営組織が必要と考えるからである。また、単価契約に切り換えることによる財政支出を抑えるためにも、市直営による除排雪体制が不可欠だと考えるからです。 ⑤令和7年度の1月末から2月初めのように、空白期間が生じないようにお願いしたい。また、パトロールが業務をしていないと思っている方が多いので、パトロールからの状況報告を開示すること。	① 今冬は、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組んでまいります。 ②市では、今冬に向けて、パトロール車両へのクラウドカメラの導入により、道路状況や除排雪作業の仕上がり状況を映像や画像で記録・共有し、迅速な状況把握や適切な除排雪指令につなげることとしております。 ③現在検討を進めている新たな除排雪体制を着実に実施することにより、市民の皆様からの様々な要望にできる限り応えてまいりたいと考えています。 ④社会状況の変化等により、本市職員による直営での除排雪では対応が困難となったことから、民間事業者の協力を得ながら除排雪を実施する体制へ移行し、平成15年度には本市の直営による除排雪路線を廃止し、全面委託としました。その後は、青森地区において直営班を縮小し、歩道除雪や雪盛処理などを実施してきたところです。 今後については、除排雪の抜本的な見直しを進める中で、現在の直営班の効果的な活用についても検討してまいります。 ⑤今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 また、パトロールについては、パトロールの増員、パトロール車へのカメラの搭載等により道路状況把握の強化を図ることとしており、情報の公開については必要に応じて対応してまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
西1	相野第一	○要望事項 1. 富田二丁目の国土交通省沖館高架橋下の市民と除排雪業者の雪押場 8 箇所は、降雪が続き气象台から大雪注意報が発令されたり、市役所からの指令を受けた除雪業者が除雪をしているにもかかわらず、雪押場の扉が開放されずに雪押しが出来ないことが何度かありましたので、今後早目の開放をお願いします。 2. 冬期間の除雪時は除排雪業者の雪押場になっている富田二丁目14-20及び富田三丁目5-1付近が雪盛りで見通しが悪くなり、車両等の通行に支障をきたす事があるので早めに排雪をお願いします。 3. 沖館ふ頭雪捨て場に軽トラダンプで排雪時に、排雪中の大型ダンプの運転手から「軽トラは雪捨て禁止だ」と言われる事があるので標示板に軽トラックのダンプも使用できる旨を標示してほしい。写真あり 4. 大雪で除排雪業者の手が回らない場合は、一挙の通常除排雪でなく、とりあえず一車線分の道幅を除雪で開けて、所々に車両の待避所を設けて生活道路をストップさせないような、除排雪を望みます。 ○質問事項 1. 住民が自宅敷地内から道路上に雪出しをする事により、付近住民の車両出し入れが困難になっており、当事者同士が話し合いになった場合、話がこじれる事も考えられる事から、道路維持課に電話で雪出しをする住民に雪を道路に出さないように注意を促してくれるよう要望したところ職員が雪出し現場を直接見ないと注意出来ないと伝えられました。現場を見れば雪出しの状況が分かる旨を話しましたが適いませんでした。住民の雪出しの抑止力向上にむけて職員への指導方針をお知らせください。	要望事項 1. 早めの開放に努めてまいります。 2. 雪盛りについては、パトロール等により状況を確認し、安全な通行に支障がある場合は、必要に応じて排雪を実施してまいります。 3. 沖館埠頭については、4 トン未満でもダンプ機能があれば搬入できることを管理者に徹底し、看板も見やすくなるよう工夫します。 4. 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 質問事項 1. 道路への出し雪は、円滑な除排雪作業や安全な道路交通の支障となることから、引き続き周知啓発を行うとともに、職員に対しても適切な対応を行うよう徹底してまいります。
西2	西上古川	(1) 篠田3丁目（C-6工区）の除雪遅延について 1 月 2 2 日から 2 月 9 日までの間、除雪作業が 1 ～ 2 回しか行われませんでした。豪雪や幹線道路の混雑だけでは説明できないと思います。作業が長期間行われなかった原因について、十分に検証し、今冬の改善につなげていただきたい。 (2) 篠田 3 丁目（C-6工区）の作業状況の把握について 交差点 1 か所の周囲 1 0 0 メートルを 2 ～ 3 時間作業して終了する、通り 1 本だけ 2 ～ 3 時間作業して終了するといった状況が続きました。その後、除雪機械やダンプがどこで作業していたのかを市が確認・改善できる体制を構築すべきでないでしょうか。 (3) 篠田小学校の教職員の通勤状況について 道路状況の悪化により、先生方が車で通勤できず、徒歩で通勤していました。学校運営にも影響する異常な状況であり、学校周辺道路を早期に確保するための対応を検討していただきたい。 (4) 千刈 1 丁目（C-8工区）の一部道路が残された理由について 地図あり 千刈小学校正門からJRアパート方面へ向かう道路は、周囲の道路が 2 月 6 日に作業されたにもかかわらず、その道路だけが残され、数日後に作業されました。このような不自然に見える作業順序となった理由を伺います。 (5) 千刈 1 丁目（C-8工区）の未作業道路と市の作業把握について 2 月 2 1 日まで作業されなかった道路がありました。住民からの問い合わせに対し、市は「2 月 9 日ごろに作業を実施した」と回答しましたが、実際には作業されていませんでした。なぜこのような認識の相違が生じたのか、また、今冬は作業実施をどのように正確に把握するのか、具体策を示していただきたい。 (6) 小中学校の校庭を雪捨て場として活用する場合の具体策について 次の事項について、夏休み中の早い段階で学校や地域に説明・協議し、具体策を決定すべきと考えます。現在の進捗状況を伺います。 ①対象とする小中学校 ②スキー授業の実施との調整 ③校庭を冬季の教職員用駐車場として使用している学校との調整 ④ダンプ・ブルドーザー等の進入経路と、校庭・門・周辺施設の保全対策 ⑤原状復帰の期限、水準および具体的な復旧方法 ⑥原状復帰を誰が、どのような方法で確認するのか	(1) 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 (2) (5) 道路状況の把握や除排雪指令の判断をよりの確に行うため、パトロール体制の充実について現在検討を進めているところです。 また、今冬は、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組んでまいります。 (3) 学校運営や道路交通に支障をきたすことのないよう、学校周辺の道路については、降雪状況や道路状況等を踏まえ、早期の通行確保に努めてまいります。 (4) 除排雪作業については、降雪状況や道路状況、作業車両の配置状況等を踏まえ、担当する除排雪事業者が作業を実施しています。個別の路線における作業順序については、当日の作業状況等により異なるため、一定の順序で実施しているものではないことから、具体には申し上げられませんが、御質問のような事案が発生することのないよう取り組んでまいります。 (6) 小中学校の校庭を雪捨て場として活用することについては、教育委員会と連携しながら協議を進めているところです。
西2	西篠田	1. 意見 (1) 除雪作業のモチベーションの高い契約システムの構築 (2) 除雪契約業者と県南地域業者との豪雪災害対応の姉妹提携の推進 2. 背景 昭和 6 0 年度（61/2/6）の豪雪では積雪深194cm（今冬183cm）、降雪累計1076cm（今冬653cm）でしたが、当時市の道路課で除排雪関連情報を管理していたものとして、当時は生活道路の除雪破綻、バス路線や幹線道路の通行止めなど発生しなかったと記憶しております。 その後 4 0 年経過し、道路管理延長、交通量など増加などありますが、中央ふ頭雪捨て場の設置、青森ペイブリッジ、古川こ線橋の整備などもあり、さほど除排雪作業環境が厳しくなっているとは考えられません。 これまで、過酷な労務、年毎の作業量の不安定さ、そして市民苦情の多い除雪業務に対し、市・業者ともに業務の平準化、スリム化、情報の見える化に務めてきましたが、それらは当然必要なことでした。 今回、なぜ除排雪作業の破綻状態が発生したのか、原因のひとつは業務の平準化、スリム化の結果、市内除雪業者全体の作業能力の低下にあると推測します。 また、最近では異常気象の発生確率が増加傾向にあり、いつなげんき大豪雪災害が発生するかもしれません。 これらの除雪業者の作業能力の向上と異常気象による大豪雪への備えは急がなければなりません。 3. 対策案 (1) 除雪作業のモチベーションの高い契約システムの構築 昭和50・60年代は、除雪業者は除雪作業で稼ごととギラギラしたものがありましたが、今はモチベーションの低下が感じられます。 これは自主出動を認めた降雪量シーズン契約は、業者が頑張った除排雪作業量と支払い額が直接的な関係がないためです。 対策として ①自主出動を認め、小雪年の補償を確保して、実働時間で支払うべきです。 ②降雪量 2 0 cm以下の路面整生除雪はKm当たりの支払いもいいのでは。 (2) 除雪契約業者と県南地域業者との豪雪災害対応の姉妹提携の推進 今のスリム化した除雪体制では異常気象による大豪雪には、予算増やしても対応できないと考えます。運転手と機械が限られているので作業能力に限りがあります。 県南地域業者の応援を求めることにして、業者間で豪雪災害対応の姉妹提携することで、日頃に除雪技術・工区情報を共有し、通常のAプランから災害時のBプラン体制に移行するとして、応援業者には単価割増し考慮するなどしてはどうでしょうか。	いただいた御意見・御要望については、今後の除排雪体制を見直す上での貴重な御意見として受け止めております。いただいた内容を踏まえながら、より適切な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。
西2	千刈	日頃より市除排雪事業にご尽力下さり有難う御座います。 私個人として、市が除排雪事業を行うので市民が助かっている、と言うのが基本と考えています。 ただ、除排雪を行う事で様々なトラブルが生じそれが全体の問題となっていると思います。 一番多くあげられるのが除排雪時の寄せ雪、特に底から剥がした際の硬い雪塊、これらを玄関前に残されると一市民の手ではどうにもなりません。 市ならびに業者に連絡しても埒が明かない。除排雪時に市民が屋敷内の雪を出すのも問題点がありますが、出したい気持ちも分かります。除排雪時の寄せ雪、雪塊の問題をご検討ください。 これに関連して町会より、除排雪時に所々の交差点内に雪を集めこれをダンプで排雪します。この際最後の後片付けが不十分で交差点内や付近の門前に雪を残して行くとの事、作業時間制限と考えられますが、ご注意願いたいとのことです。	氷の塊を置いていくことや、一人暮らしの高齢者宅の前に寄せ雪を大量に置いていくことがないよう、事前に事業者としっかり打ち合わせる。交差点に集めた雪も速やかに排雪するようにしてまいります。事業者とのコミュニケーションが必要であり、改めて説明し、理解してもらったうえで作業にあたってください。 直前の降雪が少なく、固まった圧雪を剥がす場合には、どうしても大きな塊が生じます。今回、除雪と排雪を分ける方法を検討する際にも寄せ雪については十分に検討しましたが、降ったばかりの雪はまだ固まっておらず、処理できないレベルの雪ではないと考えています。昨冬は至る所でスタックが発生し、救急車も灯油の配達も入れない状況となりました。災害時になってから体制を組むことは困難であり、常時その体制で臨むことで災害に強い除雪体制とするのが今回の趣旨であります。寄せ雪についてどこまで対応できるかは引き続き検討します。
西3	久須志町	生活路線の除雪について 昨冬は除雪に来る回数が極端に少なく、来ても除雪でなく、上部から潰して行くだけ。その為、車が通る都度轍がひどくなり、亀みたいに腹ばいになり走行不可になること度々。 排雪に来ても同一路線なのに町会が違うためか、隣の町会の道路の雪を残したまま切り上げたり。また、排雪で寄せた雪山を残したまま散々。 今冬はそんなことがなきよう徹底した除雪、排雪をお願いしたい。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
西4	三内第一	①町会内除排雪の情報欲しい ②ホットライン使っても出ない時多い ③ホットライン通じてもパソコンが故障で話を通じない事もある ④春先にマンホール破損修理して欲しい	①除排雪に関する情報共有のあり方については、わかりやすい情報発信の体制の構築に取り組んでいます。 ②③町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 ④マンホール等の道路施設については、道路パトロール等により状況を確認し、必要に応じて補修を実施してまいります。
西4	孫内	青森市の除排雪対策について、3点提案いたします。 まず1点目は、雪捨て場の確保です。除雪を進めても、雪を運ぶ場所が不足しては作業が滞ってしまいます。今後は市内の未利用地や空き地の活用に加え、空き家対策と連携し、雪捨て場として利用できる場所を確保していくことが重要だと考えます。 2点目は、行政・業者・市民の役割分担を明確にすることです。業者にしかできないこと、地域や個人でもできることを整理し、それぞれが役割を果たすことで、限られた人員や予算の中でも効率的な雪対策につながります。 3点目は、雪を「邪魔者」としてだけでなく、「資源」として活用する長期的な視点を持つことです。雪を利用した冷熱エネルギーや観光、農業への活用など、全国にはさまざまな事例があります。青森市としても、将来を見据えて雪の利活用について研究を進めるべきではないでしょうか。 豪雪は青森市にとって大きな課題ですが、見方を変えれば地域の資源にもなり得ます。市民・行政・事業者が一体となり、短期的な対策と長期的なまちづくりの両面から取り組んでいくことを期待し、私の意見といたします。	1 雪捨て場の確保については、円滑な除排雪作業を進める上で重要であることから、地域の除排雪状況や雪捨て場の利用状況等を踏まえながら、新たな雪捨て場の確保に取り組んでまいります。 2 効率的かつ持続可能な雪対策を進めるためには、行政や除排雪事業者による対応に加え、市民の皆様のご御理解と御協力も不可欠であると考えております。このため、それぞれの役割について分かりやすく周知するとともに、市民、地域及び事業者と連携しながら雪対策を進めてまいります。 3 雪を地域の資源として捉え、その利活用を考えていくことについては、将来を見据えた重要な視点の一つであると考えております。今後の雪対策やまちづくりを進める上で、こうした視点も踏まえてまいります。
西4	三内丸山	1. ホットラインで各町会長の問い合わせが多く話し中で地域の状況を相談できないので、何か対応策を検討してほしい。（困っている状況を相談できない） 2. パトロール隊は、必要不可欠であり、もっと増やすことを検討してほしい。（職員で対応できない場合は、アルバイト又は各町会へ依頼とか）	1. 町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 2. 市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をよりの確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。
西4	三和	当三和町会の除排雪の範囲は 青森市里見一丁目1－22 青森市西滝2丁目30－32 青森市西滝3丁目17－29 青森市三内玉作1－45、2－9～77 までの約550世帯で、道路は38通りあります。その他に丸山町会の一部が除排雪の区域となっている。 除排雪担当会社は「総合車両」であり、所在地は新城で、除排雪担当地域は新城地区と上記の三和町会であります。 除排雪にあたっては、除排雪担当会社の所在地である新城地域を先に実施するとの事で、三和町会は雪が降ってから4日～5日後となっている状況です。新城と西滝とは、距離があります。 三和町会の今年の除排雪は、1月16日以降、2月16日まで一度も除排雪されず、車の出入りが出来なくなり、車を出すためには多数の人の手を借りる必要となったことが多数発生しました。 そのため、他の場所に駐車場を確保し、ホテル泊りしたこともあったと聞いております。 問題点としては、除排雪担当会社1社の除排雪能力を超えて担当地域を受け持っていることにあり、1社の担当は1地域範囲・区域にするなど、除排雪能力に合った地域範囲・区域にするべきであります。 また、除排雪会社が担当地域にある場合、地元優先となるため、ほかの地域がおろそかにならないようにすることが必要です。 道路状況のパトロールが行われていない、との声が漏れ聞こえて来ております、パトロール等は確実に十分行い、状況を把握していただいて、善処して下さるよう、切に要望します。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 また、市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をよりの確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。
西4	浪館第三	○役所の言い分、業者の言い分、市民の言い分がありますが、これをうまく解決する方法はないのでしょうか？ ○雪のかたまり（とてつもなく大きい）を家の回りに置かないでほしい。私たちも年々老いていくので、とてもかたまりは片づけられません。 案として、誘導員がいるので玄関前の状況見て対応したら良いと思う。 ○下請け業者が除雪作業して許可なく空き地に雪を置いていきます。役所で把握しておりますか？ ○毎日のパトロールを実施していると聞いているが、今まで一度も見たことありません（何年も）どこに行っているのですか？	○市民、除排雪事業者及び市が情報共有を図りながら、円滑な除排雪の実施ができるよう努めてまいります。 ○今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 ○そのような事案があった場合には、市へご連絡願います。引き続き、事業者に対し適切な指導を行うよう努めてまいります。 ○市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をよりの確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。
西5	南平岡	1. 雪捨て場の排雪？ 2. 側溝へ硬い雪を落とさないでください。	いただいた内容については、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
西5	新城大坂	・県道鶴ヶ坂千刈線の除排雪を徹底的にやって市営バスを止めないでほしい！！ ・パトロール強化してほしい ・生活道路、クリーンボックス、灯油配達の道路の除排雪をやってほしい。 ・道路幅の狭い所も除排雪やってほしい ・会長専用の電話が通じない時もある ・夜だけでなく昼もやってほしい。	いただいた内容については、県に情報提供するほか、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
西5	新城下町	昨年度の除雪の苦情・相談電話件数がおおよそ19,000件と言うことで、町会長専用電話を増やして欲しいと言う要望があったみたいですが私は反対です。そこまで町会長に負担をおわせるべきものでしょうか。 本来、市の予算で計画、立案、実行しているわけですから、市が責任を持って実施すべきことだと思います。例えば冬期間だけ電話回線を増やして、広く市民の意見、要望、相談を聞くべきものと考えます。もちろん、聞きっぱなしでなく、改善、指導、指揮する責任者もきちんと置いて実行してほしいと思います。 電話がうまく、つながっていれば苦情、相談件数は19,000件と言う数字ははるかに減っていると思います。 「もっと市民の苦しい声を聞く体制作りを考えてください」 除雪の作業状況を約1,000台のGPSで確認できる体制を作っているということですが、もっと見える化を進めて市民がいつでも作業状況を確認できるものを作って欲しいと思います。 パソコン、スマホを持っている人ばかりではありませんから各市民センター等でも確認できるテレビモニターでも設置して欲しいです。 毎年、市、業者、町会長と結んでいる除雪工区の契約書は契約違反だらけだと思います。 私の住んでいる工区は2ヶ月あまりも除雪が入りませんでした。原因は町民が自分の除雪機で市道、歩道を除雪して一見雪が無いように見えるからです。 町会では除雪機を使用して除雪に協力してくれた方に協力金を支払っています。 マンパワーが足りないんだったら、町会に助成金みたいなものを出して協力を求めていく方法もあると思います。 除排雪に対しての市側からの一般市民へのPR不足があると思います。 安心して生活できる生活環境を作るため、もっと報道機関と連携して、情報発信をしてください。 どうにもならなくなってから全国に青森市のさんざんな映像を見させられ、だれも青森市に住みたいと思わない。「昨年度も情報発信が後手後手」早目、早目の対策！！	町会ホットラインは、豪雪時に市の相談窓口へ電話が集中し、町会から電話しても対応してもらえないため専用回線を設けてほしいという経緯で設置したものです。昨冬は町会からの連絡が集中し、一件あたりの通話が長くなり繋がりにくかったことから、今冬からは回線を増やすこととしています。 コールセンターについては、昨冬の応答率を示したうえで、このようなことがない回線数を用意するよう募集し、応答率向上について対策しています。 公共施設で閲覧できる仕組みについては、スマートフォン等を使用しない方には便利であり、参考にさせていただきます。 住民が自主的に作業しているのを見て、業者が作業せずに帰るのは非常によくないことと考えています。作業した方への助成については、他地区での雪ミーティングでも同様の意見があり、他の自治体に事例があることを把握したので、調査研究したいと考えております。 情報発信については、「こうした取組を行っている」ということが昨年うまく伝わらなかった面があり、災害時には毎日きれいに作業できるとは限らないため、現在の状況と段取りをしっかりとお伝えできるように情報発信に努めたいと考えております。
西5	平和台	1.懸案事項 令和7年11月10日（月）18：00から開催されました、令和7年度除排雪調整会議に於いて要望した提案事案ですもち帰って検討しますとっています。 ●毎年平和台町会においては「市民雪寄せ場の契約」を12件程の契約を締結しています。 つまり、町会として除雪業者の作業効率を最大限に効果を挙げる体制・応援をしています。 このような、町会にたいして「交付金制度」を新設してくださいとの要望です。 なお、昨年は町会費より除排雪に協力をした町会員にたいして日当を支出して、町会員の除雪協力金を支給するなどの支援をしています。除雪経費の執行金額は¥30,000円の支払いを執行しています。 では・なぜ町会費を支出してまでやる必要があるのかとの疑問は以下のとおりです。 新城地区の65歳以上の高齢者は平和台町会が一番多く300世帯です。 これを実施してあずましい町会・高齢者の安心感を目途に実施しています。 2.要望事項 除排雪の業者が契約箇所に山程の雪を積重ねるために、町会員がスノーダンプによる箇所がすぐなくなり、町会員が捨てる場所がまったくありません。 それは、しかたの無いことと承知していますが この間、再三にわたり業者をお願いしていますが、排雪をする気がありません。 つまり、業者は出勤しても一銭の金にならないと発言をしています。これでは、契約に協力をしている町会が馬鹿らしい行動をしていると思われます。 この係る経費を積算して契約金に入れてください、そうすると業者は直ぐ対応します。 よって、末端町会の雪の駆除に係る心配事は格段に減少します。	1. 地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。 2. 豪雪時、地域住民が雪を捨てる場所を確保するため、市民雪寄せ場を管理している町会から排雪の要望があり、かつ、土地所有者の同意が得られている場合には、現場確認の上で排雪を実施することとしており、このことは今後も継続していく予定のため、排雪の要望がある場合は道路維持課へご相談ください。
西5	県営平和台	令和7年は12月は雪少でしたが、1月22日より、ドカ雪が連日となりました。お努めの車がパニックとなり、困惑しました。今年もと思えば不安です。コールセンターへTELしますので、宜しくお願いします。コールセンターの電話番号を御通知くださるよう、お願いします。	雪に関する市民相談窓口コールセンターの連絡先は、広報あおもり12月号に掲載するほか、毎戸配付チラシや市HPで周知することを予定しています。
西5	鶴ヶ坂	地域にあった除雪をしてほしい 鶴ヶ坂町内の市道、鶴ヶ坂字田川161番地、162番地、163番地の家の前の道路も他の道路と同じく除雪をしてほしい。 市では、狭隘道路のため難しい、とのようですが、道路片側の側溝（40cm）に蓋をすれば3m30cm位に広くなります。 ご検討宜しくお願い致します。	いただいた御意見・御要望については、今後の除排雪体制を見直す上での貴重な御意見として受け止めております。現在、除排雪体制や作業方法、情報共有のあり方等について検討を進めているところであり、いただいた内容を踏まえながら、より適切な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。
西5	希望ヶ丘	いつも除排雪業者さんには大変お世話になっております。ありがとうございます。 令和8年1月末～2月初めに起きた大雪の時期には一度も除排雪に入っていただくことはありませんでした。その後入ってくださったタイミングで町内の方より「もっと回数を増やしてほしい」とのお願いをしたそうですが、重機のオペレーターさんに「わざわざ細越から来てやってるんだから、1回来てもらえるだけでもありがたいと思え」と返答されたそうです。 当町会は新城であり、たしかに細越からは遠いかもかもしれません。業者さんの受持ちの選定のシステムが分かりませんが、同地区内で受け持つようにできないのでしょうか。 新城は市内でも雪が多い地区ではないかと思います。雪の量を把握しすぐに出動しやすい地区の業者さんの受持ちを希望します。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。
西5	旗の台	1. 白旗野工区の除排雪出動指令状況を白旗野町会と旗の台町会の実除排雪日に区別していただきたい。 2. 団地入口の除排雪を広くしていただきたい。段々狭くなり車が往来できなくなる。（人の通行が危険になる） 3. 住民のママさんダンプによる雪捨て場を確保していただきたい。玄関先や雪寄せの処理が困難となる。 4. 青森市の積雪基準を順守して、除排雪の実施をお願いしたい。日中でもかまわない。 5. 住民からの除排雪に関する苦情に対して、町会長からだけでなく聞き入れていただきたい。 6. 団地にスクールバスが運行しているため、バスが入れず生徒を歩かせることはなくしていただきたい。 7. 除排雪業者と町会長との連絡ルートを確立していただきたい。 8. 市役所の降雪状況パトロール班と町会長との現地状況確認の場を時々お願いしたい。 9. 町会でも毎日の降雪状況や積雪の状況は確認できるので、活用していただきたい。	現在、除排雪体制や作業方法、情報共有のあり方等について見直しをおこなっており、いただいた内容を踏まえながら、より適切な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。
西6	桜木	1 降雪状況の把握 (1) 情報収集の核心であるパトロール強化の為、パトロール隊の数を増加する。 (2) パトロールの実施にあたっては、実際に車両で通行し、その可否を判断する。 (3) 現地で生活する住民から町会を通じて生活道路の現状を把握する。 2 除雪作業の継続的な把握、工区毎の除排雪回数差の是正 除雪指令発令に伴う除雪作業の開始日時、終了日時、作業精度を継続的に把握する。この際、当該住民から町会を通じて除雪作業の実情を聞き取る。 市の除排雪事業に関する意見要望 1. 自宅周辺の生活道路の除雪要望について「雪に関する市民相談窓口」にメールで問い合わせたが返信がなかった。同様の問い合わせが多数あり対応しきれなかったかもしれないが、個別対応が難しい場合はホームページ等で周知してほしい。 2. 生活道路の除排雪作業は夜間帯に実施しているが、除排雪作業が遅延している場合は、昼間帯も実施してもらいたい。 3. 今冬のように寒波が長期間居座り降雪が続いた場合、すぐには自宅周辺の生活道路に除排雪が入らないことを殆どの市民は理解していると思う。しかしながら、今冬は1カ月も除排雪作業がなく、また、具体的にいつ除排雪作業に入るのかの情報提供もなかったことから、市に対するクレームが多数発生したと思う。具体的な除排雪作業予定の広報活動ならびに作業実績があればクレームも減り、市民の計画的な行動につなげることができると思う。 4. 上記に関連するが、現状では「市の除排雪指令状況」を見ても、具体的にいつ自宅周辺の除排雪作業があるのか全くわからないので、改善してもらいたい。	市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をより的確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。 町会長ホットラインの回線を増設するなど、町会との連携を強化し、地域から寄せられる情報も活用しながら、これまで以上に道路状況の把握に努めてまいります。 現在、除排雪体制や作業方法、情報共有のあり方等について見直しをおこなっており、いただいた内容を踏まえながら、より適切な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
西7	石江江渡中	いつもお世話になっております。 昨年は近年になく大雪、各町会様においても大変だったと思いますが、当町会も非常に大変そして辛い思いをしました。 石江江渡中町会は地形上道路幅が狭く坂道が多い地形になっております。したがって積雪が多くなって来ますと人も車も出入りが大変になってきます。また高齢者が多く除雪もままならず道路が雪で悪路になり、ガスの供給も出来ず孤立してしまうケースも多々有りましたので、今年度からは昨年と同じようにならないようにしてもう少し定期的に回数を増やし週2～3回の除雪をお願いいたします。また雪対策本部と町会長とを繋ぐ町会ホットラインがあるのに、それが機能しない、電話をしても繋がらない繋がってもすぐに切れてしまうと行ったケースが多々有りました。このような事だと市と町会との間で不信感だけが増すこととなりますので、町会長から電話が入った場合は即時に対応していただきたいと思います。	ホットラインは、回線を増やすなどして、つながらないという状況がなくなるよう対応します。 これまでは15cm以上降り、なおかつ通行に支障があると判断された時に出勤していたため、圧雪状態でも走行できればよいという判断もありました。昨冬はそれに輪をかけて降り、冷え込む日が続いたことから、みるみる圧雪が厚くなり、手をかけることも難しくなりました。そうしたことがないよう、降った際にはとにかく重機を投入することにまず力を入れます。 集中した降雪時には複数の重機が必要となり、降雪時にはダンプトラックも必要となる。今シーズンは、除排雪事業にあまり参加していない事業者の組合と協定を結び、大変な時に応援してもらえる仕組みづくりを進めています。ダンプトラックについても、冬期にあまり稼働しない設備関係や水道関係の組合と応援の協定を進めており、対応できる重機・ダンプトラックの台数をあらかじめ確保します。
西7	石江江渡下	・当町会は道路幅が狭く行き止まりの多い所もありますが、昨年度、工区を分けるなど対応いただき感謝しております。 ・行政に頼るだけでなく町会としてできることを考えておりますが、ひとつには「地域的に雪捨て場をもっと確保するための検討」を行いたいと思っております。 ・具体的には、当町会に笹沼（池）があり、街路の行き当たりの空き地（数か所）に除雪した雪を堆積していますが、業者さんはどこまで入っていいかわからず、一方で現地の町民は「もっと捨てられるのに（奥まで入れるものを）もったいない」と感じています。 ◎そこで、今冬前に、町会と業者さんで雪捨て場所に関する打ち合わせや（会議）を行い、雪捨ての量を増やせるような対応を行いたいと考えております。 →業者さんは、仮に変更となれば引継ぎをしてもらうなどの対応をお願いしつつ、市に仲介、調整役をお願いしたいと考えています。 ※道路担当課のみならず公園担当課も ・除排雪の回数に係るストレスはコントロールできませんが”やり方”については町会一業者一市の3者間の事前の情報共有、調整である程度解消できると思います。 ・そうした打ち合わせが単なる町会側からの陳情クレームにならないよう、前向きな提案になるよう町会内で対応していますので、上記の要望についてご検討下さるようお願いいたします。（文責 越谷英樹）	町会、除排雪事業者及び市による情報共有については、毎年11月に除排雪調整会議を開催し、除排雪に関する情報共有や意見交換を行っているところです。 町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。
西7	石神	路線の除排雪地図において 幹線・郊外幹線等の路線地図で町会等が入った拡大したものを配布してもらいたい。 幹線を担当する業者が一般住宅路を担当しないようにしてもらいたい。	毎年11月に各地区連合町会を対象として開催している除排雪調整会議において、各工区・路線と各町会を記載した地図を配布しているので、御活用ください。 除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 一方、限られた事業者や機力を有効に活用する必要があることから、事業者によっては複数の路線や工区を担当する場合もあります。来冬に向けては、道路交通の確保を最優先とし、一定量の降雪があった場合は原則として早期に除雪作業を実施するなど、迅速性を重視した除排雪方法への見直しを進めています。 こうした取組により、事業者の作業能力を踏まえた効率的な配置と機力の有効活用を図りながら、幹線路線、工区ともに早期に除雪作業を実施できる体制の構築に努めてまいります。
北1	油川下町	油川地区 浜通りは、下町、寺町、仲町、茶屋町、館町と5町会を跨ぐ融流雪溝があります。平成16年利用開始で、市内で一番最初の融流雪溝です。 4年前に組合長になったばかりで、以前の事は詳しく分かりませんがポンプの故障、配電盤の不具合、タイマーの故障、取水口の詰まり等、多々トラブルが有ったようです。 自分が組合長になった年に、ポンプを交換しましたが、その後のメンテナンスがなされていないので、鶴見製作所に相談したところ「弊社でメンテナンスをするとすると、大掛かりになり費用もかさむので地元の業者に依頼してみてください」との回答でした。 ちなみに県のポンプは、利用開始前後に大管工業がきちんとメンテナンスしております（ポンプ場が隣り合わせの為把握） 道路維持課にメンテの件を相談するも、色よい回答が無い為、大管工業に相談したところ「県は入札で取っている仕事で、個々の案件についてはお断りしています」と、体よく断られました。 費用は当組合で負担してもかまわないので、シーズン初めと終わりのポンプへの油脂類の給油、配電盤の点検、取水口への貝類付着防止のカバー等の取り外しを、市としてご検討ください。 現在取水口は、漁師さんにフォークリフトを操作してもらい水面に揚げてカバーを取り外ししていますが、漁師さんが居なくなったら出来なくなります。	油川地区融流雪溝の維持管理については、市と管理組合において締結している協定書にその管理区分が示されており、その内容に沿ってお互いに協力しながら運営を行っているところです。 日常の施設運営及び管理については管理組合の担いとなっていることから、油脂の給油や配電盤の点検などの直接的な作業を提供することはできかねますが、ほかの管理組合などの同様の取り組みについて情報提供することは可能です。個別に相談を受けつけいたします。
北1	油川横町	4月10日の市議会全員協議会で、作業工区・路線の評価を示しましたが、除排雪「不可」が12か所、補助幹線は、良42、可13、不可1という、評価でしたが、この評価は今も変わっていないのでしょうか。 補助幹線の油川羽白線については、良と評価していますが、なぜ、良と言えるのか、誰も納得できない評価です。 幹線のいたるところで、車がスタックし動けなくなった車が右にも左にもという日が何日も続き、毎日のように連絡しているのに、除雪されませんでした。 補助幹線がこういう状態ですから、中道の住宅地の生活道路の除雪は、まったく入らず、家から車を出せないから、仕事を1週間休んだ人や、車をあきらめ、国道まで歩いてバスで買い物に行ったという人、通勤もバスに切り替えざるを得ない人が続出しました。 救急車も通れず、県道に車を置いて、担架を担いで患者を搬送していました。 中道の生活道路が除雪されたのは、県が青森市の生活道路30工区に財政支援を行うと報道された日の夜、蓬田の業者がおこないました。 補助幹線の方は、1月に除雪して出来た雪山を1月28日に排雪しただけで除雪は行わず、歩くのさえ困難で、2月8日の選挙で油川小の投票所に出かけるのも大変でした。 油川羽白線と中道の生活道路を担当している市川土建ですが、担当工区が力量を超えているのではと思います。地域住民の声は、どこも除雪されていない。業者を変えなきゃだめだという声でいっぱいです。 こういう状態だったのに、油川羽白線は良、中道の生活道路、工区で言えばA-3がなぜ、68点で可になるのか教えてください。	除排雪作業の評価については、市職員によるパトロール等を通じて確認した作業状況を踏まえ、一定の評価基準に基づき実施したものである。 一方で、御指摘のように、昨冬は記録的な降雪により、地域によっては道路交通や市民生活に大きな影響が生じたことから、住民の皆様が感じている状況と評価結果との間に隔たりがあるとの御意見についても、真摯に受け止めている。 今後は、昨冬の課題を踏まえ、より客観性や分かりやすさを確保した評価制度となるよう見直しを進めるとともに、除排雪作業の迅速性や確実性の向上に努めてまいります。
北1	日の出	・雪で道路がふさがれ、何日も人が通れなかった（1班駒井宅裏・9班と10班を結ぶ道路 の2箇所）。・町内の数か所でスタッキングが発生した。・車が車庫から出せなかった。・県道油川中学通りのバス路線が不通になった。・町会長と市役所をつなぐ専用電話が不通になった。せめて市民の声を聞くくらいの対応はあってしかるべき。・油川地区では6月27日（土）17時から雪問題に関して市長との懇談会が開催された。一か月もたたないうちに同じテーマで会合をもつことに何の意味があるのか疑問に思う。・開催時間帯を平日の日中に設定するということはお役所のご都合主義が露骨であり、暇人の市民相手の会合になりはしないか危惧している。	いただいた御意見・御要望については、今後の除排雪体制を見直す上での貴重な御意見として受け止めております。現在、除排雪体制や作業方法、情報共有のあり方等について検討を進めているところであり、いただいた内容を踏まえながら、より適切な除排雪体制の構築に取り組んでまいります。 また、町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります
北1	油川あけぼの	1. 除排雪業者の選定～1月後半からの大雪にもかかわらず町会への除排雪は10日以上行われず日常生活に支障が生じた。 原因の一つとして、業者が作業能力を超える仕事を請け負い、キャパシティオーバーが生じたと思われるので、業者選定においては、作業能力や工区の兼務能力などを勘案し契約すべき 2. 出動指令～市が出動指令を出したが、業者による除排雪は行われず、出動指令が形骸化している。 出動指令に確実に従うよう、市の権限強化が必要 3. 除排雪終了後の報告～協定書第1条⑥には除排雪業者は作業終了後地元町会に報告することが明記されているが、これまで一度も報告を受けたことがない。 業者に対する市の指令、地元町会の要望が確実に実行されるよう、市の指導の強化が望まれる。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
北1	野木和	①契約の見直しに至った経緯と見直しによってどのような点が良くなるのか、また、降雪量によって変わるが、年間の除雪費の増減はあるのか教えていただきたい。 ②内真部バイパスから野木和公園に至る道路は除排雪契約になっているのか教えていただきたい。	①契約方式の見直しについては、除雪と排雪を同時に行う従来の作業方法では、排雪用ダンプトラックや誘導員の確保状況によって作業準備に時間を要することや、短期集中の降雪時には、これまでの体制や機力では対応が困難であることが課題となったことから、原則として降雪時に速やかに除雪作業を行い、道路に圧雪を作らないようにする、迅速性を重視した除排雪方法への見直しを進めているところです。 ②御質問の道路が、県道２６号津軽あすなろラインを指しているのであれば、県管理道路であることから、問い合わせ先は県となります。
北1	ひばりの	○昨年度、道路維持課との雪対策についての説明会が油川市民センターで実施された際に、業者の選任については、町会の要望も無く、市側の都合で業者が選ばれた事に失望を感じた。 ○今年は町会の要望に沿って業者の選定に同意するとの回答があったので、守ってほしい。 ○今年は、重機に関係なく、過去の実績に不誠実な業者に対しては、契約を結ばないように強い態度で対応してほしい。 ○場所によっては、時間的に除排雪が無理な場合は、除雪のみで良いと思います。 ○雪が一段落後に、排雪が必要な時に実施してほしい。 ○除排雪が実施されたかの確認は、町会側か市側の判断に任せる事だと思う。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 不誠実な業者に対しては必要な指導を行うなど適切な措置をとってまいります。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
北2	飛鳥	令和８年は除雪車がシーズン２回しか来ませんでした。それも上部だけの除雪で車が何回か走ると轍ができて車の破損にもつながりました。 除雪は自分の機械で行うしかなくて燃料費が大変でした。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 また、地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。
北2	夏井田	旧国道２８０号線とバイパスを結ぶ道路を特に注意し除雪作業をお願いします。 また町内の枝線道路が非常に除雪の回数が少ないように感じます。 苦情の多い場所が、この枝線が多いです。 大変仕事で疲れていると思いますが、この点について当町会からお願いです。	いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
北3	北後潟	除排雪の出動を地元業者の判断で行って欲しい。	除排雪作業については、道路交通の確保を最優先とするため、除雪と排雪の作業指示を区別し、まずは迅速に除雪作業を行うことを基本としています。 一方、排雪作業については、除雪作業２、３回に１回程度を目安としつつ、道路脇に寄せられた雪の堆雪状況や道路状況等を踏まえ、適切な時期に実施することとしています。 作業の実施時期については、本市によるパトロールやクラウドカメラ等を活用した道路状況の把握に加え、日頃から現場で除排雪作業を行っている事業者からの情報も重要であると考えています。 このため、除雪作業及び排雪作業については、適正な作業管理の観点から、本市からの指令を基本としつつ、本市と事業者が道路状況や排雪状況等について情報共有を図りながら、排雪作業が必要な箇所や時期を適切に判断し、迅速な対応につなげてまいります。
南1	高田	１町会内に積雪量（道路維持課より依頼）が設置され、毎朝町会長が道路維持課の依頼を受けて積雪量を電話連絡していますが、未だ目的が分かりません。 ２mを超えても何も手だてもなく少し残念に思っています（自分としては積雪量が多くなれば積極的に除雪してくれるものだと思っていたのですが） またこれは町会長の仕事ではないような気がします。毎日パトロール隊が見回りに来ているのでその際確認し、それなりの対応をとれば早めに除雪できるのではないかと思います。 ２毎朝パトロール隊が巡回にきておりますが、なぜ機動力のある車でくるのでしょうか。スタックすると仕事に支障をきたすと聞いておりますが、例えば民間の乗っている車に脱出用器具とスコップ等を積載しスタックした場合に使用するなどした方が現状を把握し素早い対応ができるのではないのでしょうか。 ３自宅の雪を路上や雪捨て場や用水路に重機で運んでいる人にパトロール隊は注意及び指導をしているのでしょうか？その人に聞いてもパトロール隊から何も注意されたことがないと言っていますが？町会長が注意してもパトロール隊がきつく指導した方が効果があるのではないのでしょうか。 （お願い） 今回の会議はとても有意義だと思います（都合で出席できないのが残念です） 今回の会議録を町会長に送付してくださればありがたいです。そして市民一帯で雪に対する協力体制を作っていけば「よりよい市民生活」ができると思います。 ※とにかく今年も大変だと思いますが、体調に気を付けて市民のために頑張ってほしいと思います。	１地域の降・積雪状況に応じた除排雪作業を実施するため、青森地方気象台及び青森県が設置する積雪観測地点の情報を活用するほか、市独自の積雪観測点を青森地区に３箇所（新城地区、高田地区、戸山地区）設置しています。市内の積雪状況を適切に把握するため、積雪観測に御協力いただいている関係町会長の皆様には感謝申し上げますとともに、引き続き御協力をお願いいたします。 ２パトロールについては、市内の道路状況を広範囲かつ迅速に把握し、適切な除排雪指令につなげるため、機動力を重視した車両により実施しています。 いただいた御提案については、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。 ３道路への出し雪・水路への無理な雪捨ては、交通の支障や冠水の原因となることから、周知啓発を引き続き行うとともに、職員に対しても適切な対応を行うよう徹底してまいります。 今回の雪ミーティング会議概要は市ホームページでも公開しています。
南1	太陽台	１．市道浪岡線融雪装置がここの所毎年故障が発生し住民の足となっているバスが時々止まり、病院、買い物利用者より苦情が殺到しました。改修願います。 １．市道浪岡線高田駐在所（警察署）から（バス停）太陽台町会前まで、積雪量が多くなると道路の路肩が高くなり車のすれ違いが出来ず、バスが止まる。	融雪が故障した状況は現場を確認しました。当面は除雪をしっかりと行うことで対応しますが、融雪の修繕についても今後具体的に検討します。３か所の融雪はほぼ同規格であり、他の箇所も計画を立てて対応していく予定です。それまでの間は除雪を徹底するよう業者に伝えるので、少し時間をくださいますようお願いします。
南2	四ッ石	・通学路の安全を確保して頂きたい。横小、横中です。 ・寄せ雪場の確保、空き地の協力を願って活用してほしい。	いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
南2	牛館	・除雪の業者数は足りているのか？ ・除雪が粗末であるので、丁寧に行うこと。 ・新雪のうちに直ちに除雪を行うこと。何日もたつての圧雪の除雪では、とても粗末になる。 ・牛館町会は、周りが田んぼが多いので雪はいくらでも捨てれる。 ・夏季と同じ道幅の確保に努めること。 ・当町会は、バス路線があるが、冬期バスが埋まって動けない、すれ違いができない等話にならない。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
南3	曙町	昨年的大雪と、契約方式変更が複合的に絡み合い問題化したと思う。今日は不満を言う場ではなく、どうしたら良くなるのか、みんなで考える場になることを祈ります。 何が良いのか、良い案は浮かびませんが！！思いつくものを… ・20cm以上の積雪で実施する。（除雪） ・除雪、排雪を分担して、できないか。 ・小型ブルドーザーの活用をしてはどうか→除雪のみ ・契約は実績払いとできないか ・除雪の活動を可視化できないか ・昨年電話がつながらなかった→解消できないか。在宅で雪電話とる方法ないか	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 契約方法については、今冬に向けた除排雪体制の見直しに合わせ、実際の作業内容に見合ったものへ見直しを行ったところです。具体的には、除雪については作業距離に応じた契約、排雪については作業量や作業回数に応じた契約とすることとしています。 また、除排雪作業の可視化については、GPS等のICT技術を導入し、作業軌跡や作業時間等を把握するとともに、GISを活用した市民向けの作業状況の公開に取り組むなど、市民の皆様に分かりやすい情報発信を行ってまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
南3	山田町	・降雪量に合わせた計画的な除排雪をお願いしたい。 ・（昨年度）幹線道路から補助幹線道路に入る場所の除排雪が無かったので、道路幅の確保や轍の解消が無く渋滞が続くことが多かった。（特に町会で言えば、久須志神社から北金沢公園に抜ける道路） ・「町会ホットライン」が設置されているが、昨年度は何回かけても一度もつながらなかった。 ・未曾有の降雪のため、市の対策、取り組みも大変なことだと承知しているが、対応をお願いしたい。 ・町会内に設置の「こども園、園長（理事長）からの雪ミーティングに対しての要望事項も提出させていただきました。（園長が町会役員です） 提出者：あおもりみなみこども園、青森甲田こども園、チャイルドケアセンターホクリクエストの趣旨 3園では毎日多くの園児と保護者が送迎のため園周辺道路を利用しています。冬期間も子どもたちと保護者が安心して登降園できる道路環境となるよう、下記の事項についてご検討をお願いいたします。 ①青森甲田こども園南側道路 ・積雪時には道路として十分に確保されず、車両より高い雪の壁ができることがあります。 ・その結果、車両の出入りが困難となり、送迎や緊急車両の通行にも支障が生じる恐れがあります。 ・継続的な除雪・排雪により、安全な通行環境の確保をご検討ください。 ②久須志神社から北金沢公園へ入る主道路 ・3園の保護者送迎で利用の多い主要な生活道路です。 ・積雪時には道路幅が狭くなり、圧雪による段差も発生するため、送迎車同士が安全にすれ違えない状況があります。 ・登降園時間帯を考慮した除雪、道路幅の確保、段差の早期解消をご検討ください。 ③年始の開園に合わせた除雪体制 認定こども園は毎年1月4日から開園し、乳幼児の保育が始まります。一方、小学校は始業式が異なるため、小学校に合わせた除雪計画では園児や保護者の安全確保が難しい場合があります。 ・認定こども園の開園日（1月4日）を考慮した除雪計画をご検討ください。 ・可能であれば1月3日までに園周辺道路や送迎動線の除雪を完了する工程をご検討ください。 ・園児・保護者・職員が安心して利用できる道路環境の確保をお願いいたします。	町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
南4	荒川二区	1. 小中学校冬休み終了 翌日から登校となるので除雪をしてほしい 2. 除雪タイミングについて 地区雪会議で午前中パトロール、午後会議で業者発令、除雪夜中となっていますが ・大雪予報に基づいて緊急時だけでもっと早い対応ができないか？ ・現在 予報が降雪量、精度がたかくなっているため 3. 知事のパフォーマンスに負けないで、しっかり対応をお願いいたします。（市に応援しています）	1. 小中学校の冬休み終了後の登校日に合わせ、児童生徒の安全な通学を確保するため、通学路等の除雪を実施しています。今後も、適切なタイミングで除雪を実施し、児童生徒の安全な通学の確保に努めてまいります。 2・3. いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
南4	ハッ役	「奥羽本線豪雪時の運休対策について」 今年1月23日腰椎の手術で東京からの帰宅時、豪雪により奥羽本線が運休して新青森駅のタクシー乗場で100人程並んで、50番目くらいだったが1時間以上雪の中で腰痛に耐えタクシーを待った。バスは1台も来ず、タクシーも豪雪で来ない状態。奥羽本線の豪雪時の運休が常態化しており、新青森駅にも運休時の代替交通の案内もない。観光客の多くの不満の声を聞き県都の市民として恥ずかしい。運休時は、仕方ないじゃなく、代行バスをJRバス、市営バス等と連携して出すことと新青森・青森駅間のアクセス道路、除排雪を確実に実施していただきたい。	今回の冬はJRも青い森鉄道もストップし、市営バスが唯一動いていましたが、道路の渋滞で大幅に遅延した。同じ問題意識を持っています。幹線・観光アクセスの確保については、まずアスファルトを出す除雪により、幹線から生活道路まで同時に着手できるようにすることで、従来より迅速に車線を確保できると考えています。
南4	野木	町会ホットラインについて（令和7年11月10日調整会議 資料配布） 除排雪対策本部と町会長様との円滑な連絡体制を図るために、町会ホットラインを設置いたします。 設置期間12月1日～3月31日 受付時間 8：30～18：00 とありますが、まったくと言ってよいほど繋がりませんでした。 また時間外の問い合わせについては、FAXもご利用ください 道路維持課 FAX017-752-9019（道路維持課成田 雪対策室工藤 パトロール担当塚本・中田）宛にFAX送っても返答無しでした 「市営バス路線なのに一月以上除雪入らず、バスは埋まり3日間運休、灯油配達出来ない、緊急車両（消防車）もままならない状況でした、パトロール車両と出くわしたが地域担当が別ですと言われたので、地域担当へFAX送ったので道路状況を説明して欲しい旨を伝えたが当方に連絡もらえずでした。直接除排雪業者に連絡したが、県で実施するので当社は作業できないと言われました」 町会ホットライン・地域担当パトロールと町会長のパイプもっと重要視して対応していただきたい。	町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
南5	幸畑団地西	・幸畑団地内のバス路線並びに幹線路の四つ角に雪が貯まらないようコマメな排雪をお願いしたい。 見通しが悪く事故を誘発する恐れが強く、住民からの要望も高い。 ・豪雪時の居住区の排雪の場合、予定日時の事前案内を町会長あてにさせていただくとありがたい。 「いつ来るのか」との住民からの問い合わせが町会長宛に寄せられることが結構ある。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。 また、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組んでまいります。
南5	里見	除雪の際、第一幹線道路、第二補助幹線道路そして工区と間をあけないで除雪を行って欲しい。まだまだ間があきすぎている。一考を望みます。 高齢者、障害者宅の間口の寄せ雪の軽減はできないでしょうか？一考を望みます。 幸畑団地も小中学生が多くなり、通学の際、歩道が雪で埋まり、一部は町協のボランティアでやってるが、車道を通って通学している。せめて補助幹線の歩道を市で（小型ロータリーで）できないか。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 間口や歩道の除雪について、市の直営班の体制を強化することにより対応できないか検討を進めているところであり、地域の実情や道路状況等を踏まえながら、より効果的な除雪体制の構築に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
南5	幸畑ひばりヶ丘	1. 市で決めている、幹線10cm以上工区15cm以上で除雪とあることを実施してほしい。できない理由も聞きたい。 2. 夕刻からの降雪で朝30～40cm位積もる状況の時の早朝出勤できる体制の構築（役所のパトロール現在の朝9時以降ではなく夜間パトロール業者への指示）を求む。 3. 除雪の際補助幹線の交差点、十字路に雪を他の車両が運行できない位の仮置きをしている。夜間仕事に出る方々が右往左往している。救急な時事態で通行できない時は誰が責任を取るのか？改善を求めます。 4. 工区の場所において除雪作業のやり方、左右どちらに雪を寄せるとか、現場を見て作業するように市担当職員が指示できるよう求めます。	一般委託工区の除雪作業については、今年度から、降雪がおおむね15センチメートル以上で、かつ、交通に支障が生じることが見込まれる場合に出勤することとしている。 また、幹線道路については、降雪がおおむね10センチメートル以上で、かつ交通の確保が困難と認められる場合に優先的に除排雪作業を実施することとしている。 これらの出勤基準については、降雪量のみをもって一律に判断するものではなく、今後の降雪状況や路面状況、交通への影響等を踏まえ、適切な時期に出勤を判断することとしている。 除雪を優先すると雪を寄せる場所が必要になるため、担当課で確認しているところです。業者との打ち合わせをして、そうした箇所がなるべく生じないよう検討します。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
南6	板橋	記録的な豪雪への体制の見直しに更なる期待を致します。 特に実現し雪ミーティングの成果として 1. クラウドカメラ導入の実証試験で除排雪作業を遠隔確認 2. 全ての重機にGPS搭載する方針により体制構築を目指すことで市民の安全安心の生活道路の除排雪を願う。 また、シーズン契約から作業量に応じた単価契約の切り替えの背景や豪雪地域の除排雪体制の好事例のメリットも新体制に生かす改善策も伺いたいと思います。 お礼の言葉 道路維持課の皆様には当町会ひとり暮らしの屋根雪おろしも助かりました。有難うございました。	今冬からのGPS及びクラウドカメラの導入により、適切に道路状況を把握し、除排雪作業が管理できるよう努めてまいります。
南6	緑・青葉	当町会では、毎年市役所より除雪機をお借りし、町会の遊歩道等約4.4kmの除雪を、除雪隊員（男性2名、女性2名）のうち3名で、冬期間朝4時から8時過ぎまでほぼ毎日やっております。 当町会の南中学校西側は、歩道の幅が広く、大野小学校・南中学校の生徒が登下校に使う為、冬往復2～3回除雪をし、特に信号機の周りも歩行者がボタンを押せるよう除雪をしております。問題は、この南中学校西側です。せっかくきれいに除雪したところに、市のロータリー車が来て、雪を飛ばし、積み上げて行く。「人が通れない」と町民が連絡をよこし、見に行くと、かなりの高さ、重くて堅い雪、借りた除雪機では、全く歯が立たない。男性5人程でスコップで掘るしかなく、5時間もかかり、その事を市雪苦情係に連絡するも出なかったり、わかりましたの返答。その翌日もせっかく除雪した所に、ロータリー車が雪を飛ばし、また、5時間かけ町会で除雪しました。特に除雪隊員は、家の除雪、除雪機を預かっている所から除雪機を出すための除雪、そして町会4.4Kmの除雪、おまけにロータリー車がせっかく除雪した所に飛ばす雪の除雪。今年の大雪だけでも大変なのに。いらない、ロータリー車が飛ばしてよこす雪まで、町民の善意も踏み潰されているように思います。（昨年は2回、今年は4回堀に行ってもらいました）	パトロールの強化により適切に道路状況を把握し、円滑な除排雪が行われるよう努めるとともに、いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
南6	浜田中央	毎年思うことですが、役所と市民との乖離があまりにも大き過ぎる。 大雪に対する市の態勢はできているのでしょうか。 ・救急車が入れない ・市のゴミ回収に職員が難儀している ・道路が高くなって車を車庫よりだせない ・スタックした車1日に4～5台その都度みんなで協力している事等々… ・町会ホットラインがうまく機能していなかった	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
南7	奥野第一	1. 除排雪回数について（少ない）～市道側 今年は大雪になっても2回くらいしか入らなかった。除排雪の回数を多くしてもらいたい。（積雪でスタックする車両も多発し、通行もできなくなった。） 2. 除排雪の仕方について（雑である） 昨年に比較して雑であった。型的的に軽く上部しかやっていない。除排雪の意味がない。できれば路面が出る程度に作業をしてもらいたい。（段差も大きい） 3. 除排雪の塊について（塊が大きい。排雪した場所に置いていかない） 今年は雪（氷）の塊が大きい。ソルハシで砕いて取り除くなど多大な労力を要した。また、特に除排雪した場所に他の場所から押してきた雪（氷）の塊を置いて行かないでもらいたい。 ・当地域には、ゴミ集積ボックス等を常設する場所がないので、道路脇に約120世帯分を網をかけて置かせてもらっています。その場に除雪の際に雪を寄せていかれると、とても困ります。又積雪予報をみて、前日からは用意しないようにしておりますが、除雪により網や板が壊れることがあります。除雪の来る日が分かれば助かります。 ・個人的には、出入りする家の前にはなるべく塊雪を置いていかないでほしい。置かれた雪の捨て場がないから道路に寄せると、その分道がせまくなります。 ありがとうございます。よろしくお願いします。 ・小路の奥に自宅があり毎年除雪に困っております。 親も高齢（97歳）になりデイサービスに行っていますが、迎えの車が小路に入って来れず100m位歩かせている状況です。今年は98歳になり雪で車いすも使用できません。せめて排雪だけでも、雪寄せ場のない小路について週1回位お願いできれば助かります。自宅に融雪機も設置していますが30年以上使用し、故障気味です。しかし、年金生活で新しい融雪機にできません。融雪機が稼動しても灯油の消費（1時間18ℓ～20ℓ）が多く困っています。灯油代冬期間1か月5万円以上の出費で大変です。救急車も来ません。高齢者も多い小路ですので助けてほしいです。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
南7	幸畑	・市からの除排雪の依頼を低予算でも受けざるを得ない状況だと聞いたことがあります（理由は春から秋までの市からの仕事の入札に影響があるとか）本当にそうなんでしょうか？ ・雪のパトロールは、本当に活動していますか？ ・毎年、雪の除排雪の予算が、どの様な所に使われたか一度公表してほしいです。（どの業者が本当にそれにみあった仕事ができているか見極めたいと思います。）	・建設工事の総合評価落札方式において、地域貢献の評価項目として除排雪業務の実績等を評価する項目があるものの、除排雪業務については、適正な積算のうえ、双方合意のもと契約を行っています。 ・市では、パトロール等により道路状況や除排雪作業状況を確認するとともに、必要に応じて除排雪事業者への指導・指示を行っています。今冬に向けては、クラウドカメラの導入等により道路状況をよりの確に把握し、適切な除排雪指令につなげるほか、パトロール班を増設するなど、体制の強化を進めています。 ・除排雪事業に係る予算及び決算については、予算書や決算書において一定の区分で公表しているところです。より詳細な支出内容の公表については、個別にお問い合わせください。
南7	みちのく	・集中降雪に対して除排雪の出勤回数が少ない ・除排雪後の大きな雪や氷の塊を割って運ぶのは高齢者には重労働です ・2月頃にはあちこちでスタックしてました	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
南7	筒井	工区の割り振りの見直しについて 決められている工区の大半は、以前から決まった業者が、概ね、同じ地域を行っているが、会社又は事業から必ずしも近い場所とはかぎらない。遠い所から来ている業者も少なくない。工区は事業所のある所、もしくは近い所を当ててはいかがですか。これは能率が、あがる。又は、丁寧な仕事ができる。地元であるがゆえに細かい所も知っているので、指令がでていなくても積もった雪を積極的に片づける。また、工区と会社の往復の時間、燃料代も節約できる。市内全体で相当にメリットがあると思う。	事業者の見直しを進めており、3月からこれまで全事業者へのヒアリングを複数回行い、路面がどう改善したかを細かく聞いています。集中降雪時に離れた場所を担当していると移動に時間がかかり地域に迷惑がかかるため、その点も視野に入れて進めています。一方、同じ業者が長く担当するのは道路を熟知しているためでもあります。集中して降った時に地域に迷惑がかかることは極力なくするよう、見直しを進めています。
南7	東桜川	私共の町会では1/26～2/16の間一度も除排雪が入りませんでした。その間道路維持課の緊急連絡に電話するも切られること3回、留守電2回要約つながって話すも除排雪入る予定との事、しかし、現実に入らず、住民からは薬がきれ病院に行くのにタクシーへ電話するもお宅の筒井は埋まってしまうので行けない、灯油配達（ホームタンク等）プロパンガス、宅配等すべて断られる状況、救急車も途中でまで100mタンカで運び救急する状況でした。 もう一つ、私共の町会から桜川団地と往来できるトンネルが2ヶ所あるのですが、1か所に関して桜川9丁目7番地担当業者が除排雪しておらずトンネル前は雪の壁（1m以上）となり通勤通学、買物等生活道路が遮断されました。 夏場でも道路状況の下見に歩いたらどうか。副市長二人が東西に分かれて責任者となりパトロール隊と歩いては。	狭い住宅地が多いことは認識しており、まず一時的な雪寄せ場を確保できるかを検討しています。雪寄せ場がない場所は排雪の導入も必要になる可能性を考慮しており、除雪だけの指令も排雪の指令も、別々に出すことも同時に出すこともあります。地域の状況に応じた除排雪であり、一律に同じことをするわけではありません。 職員からの情報収集は「職員パトロール制」を実施しており、雪に限らず道路の異常も含めて報告するルールで、雪の時期は特に積極的に情報を出すよう指示しています。
南7	すみれ	市は、道路管理者間における除雪連携方法について、国・県と協議会を設置し、豪雪時道路を確保するための課題を検証し、具体的な対策は、次冬から試験的に実践するとのことですが、検証状況はいかがでしょうか。 豪雪時は確保すべき路線区間に優先順位を設定し、順位どおり除雪されているかを確認することにより、目詰まりがどこにあるかが明らかになると思います。この優先順位について、路線・区間を明示した形で除雪計画の中で明らかにすることにより、除雪状況に対する住民理解が深まると思いますがいかがでしょうか。 昨シーズン、町会長ホットラインの電話さえつながらなかった状況を踏まえ、雪対策専用のメールアドレスを設定し、それを使って町会長と自町会関係地区の除雪指令が出た後の除雪状況などやり取りをするようにしたいかがでしょうか。（写真や除雪状況の地図を添付するなどで情報が伝わりやすいこと、文字でやり取りするため感情的になりづらいような形になると思います。）	交差する道路の管理区分に基づき、どこまで雪を持っていくかを毎年調整しているほか、一昨シーズンから、国道・県道の降雪時にそこに通じる市道の雪も併せて排雪する「連携除雪」を行っています。専用のメールアドレスで画像を添付するなどの方法は、冷静なやり取りができるので参考にさせていただきます。
南7	田茂木野	狭隘工区に頻繁に来てもらいたい。	狭隘道路についても、市民生活に欠かせない生活道路であり、その重要性は十分認識しております。 一方で、狭隘道路は道路幅員が狭く、除雪作業に使用できる機械や作業方法に制約があることから、作業に時間を要するなど、除雪作業の実施には様々な制約があることについても御理解いただきたいと考えております。 このため、限られた除排雪体制の中で、道路状況や降雪状況を踏まえながら対応しているところでありますが、今冬に向けた除排雪体制の見直しを進める中で、狭隘道路を含めた適切な除排雪の実施に努めてまいります。
南7	鍋坂	午前2時～3時に除雪をするため、夕方帰宅時間になると車が走れない程雪が積もってしまう。大雪の時は午後も除雪してほしい 除雪業者が個人事業者なので仕方がないでしょうが、他の業者に応援してもらい、まめに片づけてもらいたい。	いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
南7	東奥野第二	1.行き止まり路地の除雪を残り15mで止めて、業者が「後で行う」と言い残して帰ったが、「後」は来ず路地の住民は呆れていた。 その後町民から連絡を受け、市のホットラインに連絡して対応して貰ったが、非常に問題のある業者と言わざるを得ない。 2.歩道の除雪を実施する判断（基準等）が甘すぎる。歩行に難がある高齢者はもちろん、そうでない方でも通行を止め、車道を歩くようになり安全上大いに問題がある。車道は狭く端はすり鉢状になっているため、除雪頻度を向上できないものか？ 3.車道の除雪後すぐに車道に自宅前の雪を出して道路幅を狭める人がいる。 注意しても聞く耳を持たず近隣の方も呆れている。市又は警察で対処してほしいが、どうしたらよいものか。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 道路への出し雪は、円滑な除排雪作業や安全な道路交通の支障となることから、引き続き周知啓発を行うとともに、職員に対しても適切な対応を行うよう徹底してまいります。
南8	南金沢	町内には雪寄せ場が4か所ありますが皆20～40坪と広くない為12月で満杯となり春3月迄その状態が続きます、除雪業者と話しても予算の関係で排雪は出来ないとの事。地域住民の為、雪寄せ場が満杯になったらシーズン1～2回程度の排雪をお願いしたい。	豪雪時、地域住民が雪を捨てる場所を確保するため、市民雪寄せ場を管理している町会から排雪の要望があり、かつ、土地所有者の同意が得られている場合には、現場確認の上で排雪を実施することとしています。今後も継続していく予定のため、排雪の要望がある場合は道路維持課へご相談ください。
南8	片岡	1 作業日程について 市民に対する作業の進捗確認報告はとても大事なことはあるが、作業予定を事前に開示し、予定通りの日程で作業を行ってほしい。 いつ作業が行われるか正確な情報がわかれば、大雪で不便を感じていても我慢して待つことができる。 除雪作業が日程通り行われる（行われた）のであれば、市への相談電話が減ると思われる。 リアルタイムの作業状況の開示と今後の作業予定の見える化ができる体制構築をお願いしたい。 2 市民等への協力要請について （1）通勤で使用される一般車両の削減について 民（企業）官（官公署）を問わず、時差出勤、在宅ワークの促進依頼等を要請し、通勤時間帯毎での通勤車両の分散、削減を図れないだろうか。 また、公共交通機関（バス、電車）の利用促進を図り、場合によっては通勤時間帯の市営バスを増便し、あるいはバスの無償化するなどして思い切った通勤対策を採ることはできないだろうか。 通勤時間帯における一般車両による移動数を減らして渋滞緩和を図り、更に日中における幹線道路除雪作業を行いやすくするために一般車両による移動数を減らす必要があるものと思う。 （2）市民への協力（自助努力）要請について 市民（町内会）等による住居周辺での除雪作業を行うために「市民雪捨て場」の拡充を図ることはできないだろうか。 「市民雪捨て場」については、市側で把握している空き地情報等を町会に提供すると共に広報での周知を強化していただけたなら（特に、固定資産税の軽減に繋がることを前面に出すことにより）、空き地所有者の協力も得やすいかと思われる。 また、住宅密集（狭隘）地域においては、大型重機が入れないことにより行政（除排雪業者）による作業が後回しになる傾向があると思われることから、地域における清掃活動の「市民人一掃きデイ」のような、地域「雪かきデイ」を呼びかけ、「雪かきデイ」を実施するための補助（除雪用具の購入費用や除雪機械のガソリン代金の補助等）、支援対策を検討いただき、市民等からの、理解、協力を得ては如何だろうか。	今冬は、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組んでまいります。 地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。 いただいた内容は貴重な御意見として、今後の除排雪体制の見直しの参考にさせていただきます。
南8	東片岡	東片岡町会では、毎年12月上旬～3月中旬まで学童通学の為の歩道除雪を市からの除雪機械で下記の青色の箇所の除雪を行っています。雪が多く排雪されなくなると雪を投雪する場所が無くなり大変苦慮している状態です。下記に表示された場所、区域は定期的な除排雪の計画を強く要望します。何卒よろしくお願いします。（地図あり）	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、道路交通機能の確保を目的に、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。
南8	南片岡	昨年秋の除雪説明会で、緊急車両が通行できるよう除雪をするとの話有りました。しかしながら、今年3月初め除雪入らないため、救急車が患者様宅まで横付けできず、コンビニ駐車場まで担架で運んだという事が有りました。 その点をいかにお考えでしょうか。 また除雪について夜間の作業がほとんどですが、路駐車両が少ない日中の作業は出来ないのでしょうか。 市の除雪パトロール実施しているとの事ですが、パトロールしているのを見たことない。 除雪完了後の市の確認作業を実施してください。今冬のような「可」「不可」ないようにお願いします。 コールセンターの機能不十分、連絡付かない。もう少し対応をよろしくお願いします。 また、天候によって、雪がジャケる事による車両がスリップして動けなくなる事があり、天候を見ながら作業実施してほしい。 除排雪の際、各家の間口に大きくかたい雪を残して行くが、片付けに苦勞するので十分注意して作業してほしい。（特に高齢者の方より苦情有り） 良き回答をお願いします。	救急車などの緊急車両の通行確保は、除排雪において特に重要であると認識しています。 今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 除雪作業については、作業の安全性や効率性を踏まえ基本的には夜間を実施していますが、道路状況や降雪状況等に応じ、適切な時間帯での作業に努めてまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
南8	大野前田	①吹雪が2日続いたら、3日目に必ず除排雪するようお願いしたい。吹雪が2日続くこと自体非常事態 ②もし仮に、市民からの除排雪依頼が殺到する最中、「市長もう少し様子をみましょう」などと助言した人物がいたとしたら、その者こそ2年連続の雪害の元凶。肩書を全て召し上げ、熊沢の処分場へ配置転換をお勧めする ③海の捨てているのは雪だけです。業者の手元に渡るお金は市内の景気を支える源。この認識を市民に浸透させるようお願いしたい。	いただいた内容については貴重な御意見として受け取らせていただきます。
南8	大野ニュータウン	究極は、除雪回数を大幅に増すことだと思いますが、財政は、そうはいかないと思います。 そこで、現在圧雪の状態で除雪排雪を同時に実施している状態を昭和の新雪での除雪に、また状況に応じて排雪を実施することで、環境は大幅に改善できると思います。ただし、出勤回数は増えると思いますが圧雪にはまって、動けない車両のトラブル等は減少すると思います。	目的は除雪回数を増やし圧雪を作らないことに注力することであり、タイミングよく排雪を行って生活上の障害や経済活動の停滞がないようにしたいため、引き続き協力をお願いいたします。
南9	妙見第一	1. 県の受託業者と市の受託業者は、重複契約の業者となっているんですか。 今年度の除排雪で報道を見れば、県と市の対応について不協和音があったというイメージが感じられました。 今年の「集中した豪雪」の下で、例年通りに除雪作業ができなかったのは「何故なのか」その説明をしていただきたい。 2. 市の受託業者が減少したのか。国、県、市の受託業者の契約内容、契約金額に大きな差異があったのか。その点についても伺いたい。 県であれ、市であれの契約内容の統一、受託業者への差異があるなら差異をなくする等が必要ではないかと思います。 3. 除雪作業に必要な重機、運搬車などの事前登録が”同意”あったのか。足らないなら、どうすれば充足できるのかを考えることが必要ではないかと思う。 除雪作業は、70億～80億円の予算規模が組まれていますので、市民の目もシビアになってくることは必然だと思います。 同じ青森市内に住んでいるのに、除排雪の良し悪しで 優・良・可・不可とランク付けされれば、市民どうし仲たがいさせるようなことは良くないと思います。	1. 県と市の除排雪業務については、それぞれの管理道路に応じて除排雪事業者と契約しているものであり、同一の除排雪事業者が県及び市の業務を受託している場合もあります。 また、今冬については、短期間に集中的な降雪があったことから、除排雪事業者において、これまでの体制や機力では対応が困難となり、除排雪作業に遅れが生じたものと認識しています。 2. 本市の除排雪事業者数については、令和6年度が116社、令和7年度が115社となっており、ほぼ横ばいです。 また、国、県及び市では、それぞれの管理する道路や除排雪の実施方法等を踏まえて契約していることから、作業実施方法、契約内容や契約金額については、それぞれ異なります。 3. 除排雪に必要なとなる重機や運搬車両等については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握しています。
南9	妙見第三	1. 国道103号線、観光通りの大渋滞の解消対策について 2. 妙見第三町会から国道103号線に出入りする交差点の除排雪の段差解消について ①毎年、降雪時になると国道バイパス横内交差点から山田電機店前まで数kmにも及ぶ交通大渋滞の発生が毎日続いています。その影響は周辺の町会にもおよび国道103号線への出入りが非常に困難であります。その原因は、同変則交差点の角ずに除排雪の盛り上げがあり、本来の道路幅の確保が出来ないために車線減少する。そのために渋滞を引き起こして、観光通り方面行の車列をなしているものと思慮します。 ②また、妙見第三町会から国道103号線に出入りする2カ所の交差点の段差と、これに通じる数10メートルの轍が発生している。 その場所の特定としては、地図あり ○パチンコ北大店横とローソン妙見店前の信号機のある交差点 ○パチンコUSAとENEOSガソリンスタンド横の信号機のない交差点 この2交差点の除排雪の残雪が段差をつくり盛り上がり、車線も一車線となっており、通行車両に危険な状態をおよぼしている他、同交差点の直ぐ前に、規模の大きい老人ホーム施設「ニューライフ 芙蓉」があります。 よく救急車の要請もあり、搬入搬出が困難であるとのこと。更に、配送トラック等のタイヤチェーンで大きな轍が出来ていること。等、通行人や車両に支障をきたしていると沢山の苦情が寄せられています。 例年通りの除排雪の仕方では、これほどの酷さがなかったのに、昨年の除排雪方法の変更から見られるようになって除排雪事情が変わったとの苦情が多くなっております。 そこで課題ではありますが、 ※これは受託業者の除雪の仕事の変更からこうなっているのか。 また、市役所の指導か、要検討をして対処できないか。	ヤマダ電機近くの交差点は国道側を含め県の除雪担当であるため、県としっかりすり合わせをします。 ローソン交差点や教習所入口の段差は、県道と市道で担当が違うため、改めて県と調整し、なるべく段差ができないようにしてまいります。
南10	桜川団地	・町会の中に4業者が入っているが業者によってバラつきがある。市の指導及び検査はやっているのか。 ・バス路線がストップしてしまう事態が異常である。市の対応が遅いのでは？	・除排雪作業については、除排雪事業者から提出される作業日報等の確認や道路パトロール等により、作業状況を確認しています。また、除排雪事業者ごとの作業状況等を踏まえ、必要に応じて指導を行っています。引き続き、事業者ごとの作業のバラつきがないよう、適切にパトロールを実施し、作業状況の確認及び指導に努めてまいります。 ・バス路線については、昨冬は短期間に集中的な降雪があった場合には、除雪作業が追いつかず、バスの運行に支障が生じる事態も発生したところです。今後は、降雪状況や道路状況を踏まえ、バス路線の交通確保に必要な除排雪を適切に実施してまいります。
中1	蜷貝	歩道の確保	市では、これまでも直営班により歩道除雪を行っていましたが、今冬から緊急時における対応力を強化するため、市が4トンドンプトラック3台を確保し、雪盛り処理等を実施できる体制を構築することとしています。
中1	松原	平素より市政運営にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。 さて、私ども松原町会では、町内を通る中央市民センター裏通り（勤労者プール前：別紙位置図参照）において、冬期間に常態化している路上駐車により、深刻な安全上・生活上の支障が生じております。 当該道路は道幅が十分でないうえ、積雪期には除雪により有効幅員がさらに狭くなります。その状況下で路上駐車が発生すると、下記のとおり地域住民の生命・安全に直結する問題が生じております。 ・歩行者が道路端を通行できず、やむを得ず車道中央付近を歩行せざるを得ない状況となり、交通事故の危険が極めて高まること。 ・除雪車両が進入できず、除雪作業の遅延・不完全化を招く原因となっていること。 本件につきましては、青森警察署交通課にも相談を行っており、現場確認等を含め今後検討していただく予定との回答を受けております。しかしながら、冬期間の安全確保という観点からは、行政としてのより踏み込んだ対応が必要ではないかと考えております。 また、当該路上駐車については、近隣の公共施設・事業所等への通勤・業務目的で事実上、通年無料の駐車場のようになっている実態も確認されており、地域住民の理解を得られる状況ではありません。 青森市は全国有数の豪雪地帯であり、冬季における道路利用の安全確保は、通常期とは異なる特別な配慮が求められるものと考えます。実際、市内には季節限定の駐車規制が行われている道路も存在しており、本件についても柔軟な検討の余地があるのではないのでしょうか。 つきましては、下記の事項についてご検討くださいますよう、強く要望申し上げます。 記 1. 冬期間における当該道路の安全確保について、市としての見解および対応方針を明らかにしていただくこと。 2. 警察・公安委員会等の関係機関と連携し、地域の実情に即した実効性のある対策（季節的な駐車等）を検討していただくこと 3. 公共施設・周辺事業所利用者による路上駐車が発生しないよう、市として指導・調整を行っていただくこと 地域住民が安心して生活できる環境を守るため、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。	冬期間の路上駐車については、除排雪作業や歩行者の安全な通行の支障となることから、パトロールにより違法駐車を確認した場合には、車両に注意喚起の張り紙をするなど、路上駐車防止に努めています。 また、駐車規制については警察等の関係機関の所管となることから、関係機関と情報共有を図ってまいります。
中2	鍛冶町	<今冬の状況> ・鍛冶町は融雪使用の歩道があるが、特に1月22日から2月中旬は寒波で雪質悪く、住民も少ない為、雪片付けが進まず転んでけが人も出た。難所は除雪機対応したが、殆どが成り行き状態だった。通勤出来ない人や、人通りも少なく休業する飲食店等相次いだ。 ・車道はすり鉢状態であちこちが穴だらけの為、大混雑していた。本町・青柳地区は他の地区との比較で車道の除雪は多いようだが、南北の生活道路はひどい状態で、業者に相談するものの、上からの指示待ち含め結果は採算とれず出勤できない。市役所に電話してもコールセンター等全く繋がらない状況。 ・本町の特徴として商業地の為、別地域からの通いが多いが、駐車場の大幅台数減に加え周辺道路は悪路で駐車困難。弘前から来る飲食店店主は1週間店舗に寝泊まりしたとの事。また他地域から本町の雪片付けへ行くこうにも、自宅付近は長期間除雪が入っておらず、車庫から自家用車を出せない状態。国道も市特有の形状で、東西道路は何とか行けても、南北道路のアクセスが悪く信号交差点の車両立往生で長時間の渋滞続く。 <来冬への要望・対策> ・前提として、温暖化等異常気象で想定越えの降雪は今後もあり得る。市・県・業者による三位一体のチーム体制しっかり組んで欲しい。リーダーの市長の役割はより重要。 ・具体的には工区、路線の除排雪状況確認をカメラ導入による可視化とあるが、データ作りが目的でなく迅速な行動が求められる。除雪はもとより排雪場所の確保は充分か？ ・パトロール強化後、除排雪必要箇所や出勤日を決定する連絡網を見える化して欲しい。 ・今回は運営する業者側の現状や問題点、意見等が開示されていないが改善は大丈夫か？除排雪評価基準も市民の納得できるものとし、良かった工区の分析と標準化が必要。 ・最後になりますが、今冬の豪雪と除排雪の極度の遅れは、市民にとってやり場のない大変なストレスとなり、交通、経済、生活に支障をきたし市民が住みたい街には程遠い結果に至りました。市長始め関係者各位のご努力は認めつつ、来冬に向け行政、業者、市民による情報の共有化に最大限努め、雪対策の具体的実践を適宜図って頂きたい。	近年は、気候変動等の影響により、これまでの想定を上回る降雪が発生する可能性もあることから、豪雪時においても迅速かつ的確に対応できる体制を構築することが重要であると考えております。 このため、本市としては、青森県をはじめとする関係機関や除排雪事業者等との情報共有や連携を強化し、それぞれが役割を果たしながら、一体となつて対応できる体制の構築に努めてまいります。 業者の業務改善については、昨シーズンの評価を踏まえて改善計画を求め、その内容を精査しているところであり、改善につながらないと判断した業者については入れ替えを行います。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
中3	上浦町	・昨年同様、うわべだけ除雪をし、今年も特に1車線だけ、車庫から車を出せない。大変でした。 中央1－19－20車道に埋まる車続々、近くに保育園あり、大変でした。 ・近所の方が学校からブルトーザーを借りてきて、この通りだけです除雪してくれました。 ・お知らせしておきます。 最後に除雪の後に見回っていると聞いていますが本当でしょうか？ ・先日、市長の謝罪会見を見ましたが、おそかったのでは？	今冬の除排雪において、十分な道路状況の確保ができず、車両の通行や出入り等に御不便、御迷惑をおかけしたことについて、お詫び申し上げます。 今冬は、GPSの導入により、除排雪事業者の作業状況を市においてより正確に把握し、除排雪対策本部内で情報共有するとともに、その状況を踏まえ、除排雪事業者に対してより適切な作業指示や調整を行うなど、除排雪作業の効率化・迅速化を図るほか、市民の皆様に向けた作業状況の公開の体制の構築に取り組みでまいります いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しに取り組んでまいります。
中3	西浦町	西浦町町会範囲の道路除雪状況を2週間に1回の割合でFAXでも報告してもらいたい。 例 何月何日何時に除雪したか。	いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
中3	橋本	昨冬は豪雪とはいえ除排雪がひどかったことは大変残念であり、効果的な見直しがされることを期待しています。 なお、除排雪体制をどのように見直ししたのかを、今後市民にわかりやすく周知していただきたいと思います。 要望は、除排雪しているときの責任者の配置と迅速な対応及びあまりにひどい寄せ雪の解消についてです。 昨冬の経験談です。午後9時近くに帰宅すると家の前の除雪が終わった後でした。昨冬は、数週間も除排雪が行われなかったため、道路の積雪が多く、除排雪が入った時の道路と車庫との間に40cmほどの垂直な段差が生じ、それだけでも車が出せない状況ですが、かつその上に人の体のような大きさの寄せ雪の塊が置かれ、自力で片づけるのは無理と判断し、誘導灯を持っている人に現場を見せて、あまりにひどいので解消をお願いしましたが、はいと返事はするものの何もしてくれませんでした。 午後9時頃に伝えてから、誘導灯を持つ人は2人ほど入れ替わり、その都度説明しましたがいずれも何もしてくれず、午後11時半過ぎに音が遠ざかったため、200メートルほど追いかけて、今度は除雪ドーザーの運転手に事情を説明し、現場を見てもらい、大きな寄せ雪を取り払い、垂直な段差を少し削ってもらい、あとは自分でスコップで段差を削り、何とか車が出せる状況になりました。 同じようなひどい寄せ雪で困っている話は、他の町会の人からも聞くため、今回要望させていただきました。 特に今回のように道路の積雪が多くなった場合に除排雪すると、敷地や車庫と除雪した道路の段差が高くなり車の出入りが困難になるし、さらに寄せ雪も大きく、量も多くて大変なため、今後は適切な除排雪をしたかを判断する責任者が必要であり、ひどい寄せ雪にならないように除排雪をしていただきたいと思います。 もし、すでに現場責任者がいるならば、今回のような申し出にすぐ現場で対応するような体制にしてください。	極端な寄せ雪については、元請に対し現場の作業管理体制の監視と指導を徹底します。ただし機械除雪である以上、膝下程度の寄せ雪が残るのは機械除雪の限界であり、これまでの経験則からご協力をお願いしています。圧雪状態になる前に除雪する（回数を増やす）ことが寄せ雪の軽減にもつながります。 マンホールの段差は、契約予定業者に作業地図を示して実際に歩いてもらい、要望を受けてすりつけ補修を行っています。寄せ雪を抑えるアタッチメントを装備している業者もあり、引き続き業者と調整します。高齢者のみ・障がい者のみの世帯については人力を加えて寄せ雪を除去しています。 毎年11月頃に各地区で除排雪調整会議を開催し、町会と担当事業者が顔を合わせ、当該シーズンの除排雪計画や地域特有のルールを確認しています。その場に業者の作業責任者も出席するため、連絡先を含めて相談できます。連絡先が不明な場合は道路維持課雪対策室に問い合わせてもらえれば情報を提供いたします。 なお、除雪作業中に極端な寄せ雪など、作業内容について御意見や御要望がある場合には、現場での作業に支障が生じないよう、道路維持課雪対策室等へ御連絡いただき、市において状況を確認し、必要に応じて事業者と調整しながら対応してまいります。
中3	橋本南	・除雪対策本部に町会ホットラインを使って連絡しようとしたが、通じなくて困った。 1回目 2/3 11：59 2回目 2/3 16：42 3回目 2/3 16：52 4回目 2/4 8：48（5分34秒） 4回目の朝一番で、電話したところ運よく通じた。 町内の除雪の状況を報告できるしくみを作っていただきたい。例えばファックス、メールなどを利用するなど。できたら返信も期待したい。 ・交差点の段差の解消をお願いしたい。	町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。
中4	安方	1.夜間、予定がわからないまま除排雪が行われています。除排雪作業が終わると、その日の朝、そこに歩道から雪を寄せることになり、すぐに車の通りが悪くなります。 →除排雪の予定を、事前に町会に知らせて、歩道の雪を先に出してもらい、その後に除排雪の作業を実施すれば、しばらくの間、道路も歩道も安心です。 2.町内会にお金を補助し、町内会内で除雪機や人力で歩道の雪を、こまめに除雪する。また、除排雪の予定が決まったら町内会内全体で道路に雪出しし、その後に作業に入る。 3.特に青森駅からアスパム通りまで、観光客が車道をキャリーを引っ張り歩いている。とても危険。集中して除排雪してほしい。 4.青森駅を中心に、車道に融雪施設（新町通りと同じ）を設置して、住民、観光客も困らない、安全・安心「冬も、歩ける青森市」として欲しい。長いスパンになると思う。	観光施設を結ぶルートは融雪を敷設している箇所もありますが、昨シーズンのような短期集中かつ寒波が続く状況では融雪が効かないため、融雪任せにせず機械除雪に入ることを考えています。直営作業班も投入し除雪回数を増やします。作業予定の情報共有は、昨シーズン後半から市ホームページで公開しており、GPS・ICTのシステムと併用してどのような情報提供が有効かを検討しています。住民協力の仕組みは、東部地区でも同様の意見をいただいております。他自治体の事例を勉強してまいります。 住民協力に関し、排雪予定が分かれば家の前の雪を道路に出すという趣旨のお話がありましたが、敷地内の雪を道路に出すことは違法行為であり、道路上の雪を片付けるのが市の作業であることをご理解くださいますようお願いします。 また、地域除雪活動への支援として、小型除雪機を活用して自主的に実施する道路や歩道の除雪作業に要する燃料費を支援します。
中4	中央古川	①今年の青森市の除排雪の費用は全体でどれくらいになったのか？ ②そのうち、青森県からの財政支援はいかほどなのか？ ③青森県から青森市の除排雪への見解が示されているが、それに対する青森市の返答をお聞きしたい。 ④市民からの問い合わせに対しての体制の不備が見られたが、その改善策はどのように考えているのか？	市の除排雪費用は83億円程度です。国からは総務省の特別交付税として過去にない規模となる約59億円をいただいたほか、国土交通省の除雪に関する助成金による億単位の補助があります。県からは、豪雪災害のあった期間中の分について約10億円の支援をいただいています。不足分は市が負担しています。県からの指摘に対しては、文書で回答済みであり、記者会見でのコメントを含め、指摘事項に対する市の対応を全てお答えしています。技術的助言も踏まえ、作業量に応じた契約手法への切替えなど新たな見直しを進めています。
中5	古川三丁目第一	担当地区の排雪業者が何年も同一業者ですが、あまり長く続くと手抜きが行われる可能性があるかと思います。何年かごとに変える必要も考えるべきかと思います。 市の雪対策室と業者のなれあいはい無いのか、忖度は無いのか調べる事も必要かと思う。	除排雪事業者の担当工区路線については、毎年度、全ての除排雪事業者に対して実施しているヒアリングにより把握している保有機械や施工体制、処理能力等を踏まえ設定しています。
中5	旭町	事前パトロールで巡回して頂き計画通り除排雪をしていただければ良いと思います。	いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
中5	中央旭町	・児童・生徒の登下校の安全が最も大切である。歩道の除雪がきちんとやらないといけないと思う。 ・情報として除雪がいつ入るのか分からないので、とても不安です。きちんと予定を知らせてほしい。 ・市民の皆さんの協力の仕方としてパトロール等を公募してもいいと思う。LINE等で連絡をとってもいい。 ・他県の豪雪地帯（例えば新潟県、北海道他）はどうしているのか情報を得て参考にすることができる事から取り組んでみる。	歩行者の安全な通行を確保するため、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な歩道除雪の実施に努めてまいります。 除排雪業作業にかかる情報共有のあり方については現在検討を進めています。 いただいた内容を踏まえ、今後の除排雪体制の見直しの参考とさせていただきます。
中6	中奥野	・除排雪事業については、町会長としては市の考えは考え方がありますが町会として最低限その情報について事こまやかに詳しく発表して欲しいと希望する。 ・雪寄場を増やして欲しい（例①学校等の空地を利用する ②公園の一部など ③休耕田とか）	除排雪業作業にかかる情報共有のあり方については現在検討を進めています。 雪寄せ場・雪捨て場については、地域の除排雪状況や利用状況等を踏まえながら、引き続き確保に向けて取り組んでまいります。

雪ミーティングで提出いただいたご意見等とその回答について

地区	町会名	御 意 見 等	回 答
中6	西奥野	①自宅玄関前の最後に残った雪について、重く大変なので一掃きして頂きたい。 ②奥野1丁目と4丁目の境に位置する交差点に除雪した雪が積み残されて視界が悪いので、歩行に危険。 ③奥野4丁目1番地と2番地の境の通路の途中にある私有地が道路になっていて、それ以降の奥の住宅前まで除雪車が入っていけないので、早急に対応していただきたい。	今冬は、迅速性を重視した除排雪方法として、一定量の降雪があった場合は、原則として早期に除雪作業を実施することとし、作業頻度を高めることで、道路に圧雪を作らないようにするとともに、堆雪状況を踏まえながら排雪作業を行うこととしており、道路状況や降雪状況を踏まえながら、適切な除排雪の実施に努めてまいります。 なお、機械による除雪作業においては、道路上の雪を道路脇に寄せる必要があることから、一定程度の寄せ雪が生じることは避けられないため、その点については御理解と御協力をお願いしたいと考えております。
中6	勝田中央	昨年度は2年連続の大雪で、市の方々は大変ご苦勞されたのではないかとお察しいたします。地域の実情や意見としてはおそらく他の町会の方々と同じではないかと思しますので割愛します。ただ個人的に毎年秋に行われている会議で次のことが気になりましたのでお伝えします。 ・会議のレジュメがない（目的や次第等） ・昨年は担当の業者が来ていない（確認等の共通理解） ・除排雪がいつどこでどの程度やるのか知る方法を知りたい ・ホットラインの活用法を知りたい（どの程度で使用可か） 改めて共助の大切さがわかった大雪でした。少しでも解決されることを期待します。	・毎年11月に実施している除排雪調整会議については、会議資料のほか、町会内での回覧等に活用できる資料を配布しています。 ・除排雪事業者は、都合により出席できない場合がありますが、町会との情報共有を図るため、可能な限り出席するよう促してまいります。 ・除排雪作業にかかる情報共有のあり方については現在検討を進めています。 ・町会ホットラインについては、町会からの問い合わせに対し、適切かつ丁寧に対応できるよう、職員への指導を徹底するとともに、研修マニュアルの充実など、電話対応の改善を図るほか、回線数についても増設し、円滑に相談を受け付けられる体制の確保を図ってまいります。